

第二期大牟田市子ども・子育て支援
事業計画に係る市民アンケート調査
報告書

平成31年3月

大 牟 田 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果の総括	2
1	子どもの育ちをめぐる環境	2
2	保護者の就労状況	4
3	お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	5
4	お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況	6
5	お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	7
6	お子さんの病気の際の対応	7
7	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	8
8	職場の両立支援制度について	9
9	（子どもが5歳以上のみ）小学校就学後の放課後の過ごし方	10
III	調査結果	11
1	居住地域	11
2	子どもと家族の状況	12
3	子どもの育ちをめぐる環境	14
4	保護者の就労状況	23
5	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	2
6	地域の子育て支援事業の利用状況	37
7	土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	44
8	子どもの病気の際の対応（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）	48
9	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	55
10	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	64
11	（子どもが5歳以上のみ）小学校就学後の放課後の過ごし方	73
IV	調査票	83

I 調査の概要

1 調査の目的

2020 年度から 2024 年度までを計画期間とする「第二期大牟田市子ども・子育て支援事業計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

大牟田市在住の就学前児童がいる 2,000 世帯を無作為抽出

3 調査期間

平成 31 年 1 月 17 日から平成 31 年 2 月 6 日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配 布 数	有効回収数	有効回収率
2,000 通	901 通	45.1%

6 調査結果の表示方法

- ・集計表は小数点第2位を四捨五入しているため比率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問は比率を合計すると原則 100%を超えます。
- ・表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。(無回答を除く)
- ・回答数が 10 件未満の場合、割合ではなく回答件数を表記しています。

Ⅱ 調査結果の総括

1 子どもの育ちをめぐる環境

- ・主に子育てを行っているのは「父母ともに」が53.7%で「主に母親」が43.6%であり、平成25年度調査と比較すると大きな変化はみられない。
- ・子どもをみてもらえる親族・知人等の有無について、63.4%の人が「緊急時や用事の際に祖父母等の親族にみてもらえる」、29.1%の人が「日常的に祖父母等の親族に子どもをみてもらえる」環境にある。平成25年度調査と比較すると、子どもを日常的にみてもらえる人が減少し、緊急時にみてもらえる人が増加している。
- ・子育てに関する情報について“入手できている”人が82.8%となっている。子育てに関する情報の入手手段は「幼稚園・保育所・認定こども園・学校」が67.4%、「インターネット（SNSを含む）」が57.6%と高くなっている。
- ・96.8%の人が子育てに幸せや楽しさを感じている。
- ・子育てに「少し不安がある」人が69.3%、子育てを「すこし負担に感じる」人が50.2%存在し、ともに平成25年度調査と比較すると増加している。
- ・住んでいる地域は子育てがしやすいところだと思いと回答した人は、平成25年度調査と比較すると減少しているものの、56.8%の人は子育てがしやすいところだと思っている。

①主に子育てを行っている人 【問6】

「父母ともに」が53.7%と最も高く、次いで「主に母親」が43.6%と続く。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられなかった。

②子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方 【問7】 ※複数回答

「父母ともに」が57.6%と最も高く、次いで「保育所」が38.3%、「母親」が34.4%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「認定こども園」が増加し、「幼稚園」が減少している。

③子どもをみてもらえる親族・知人等の有無 【問9】 ※複数回答

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が29.1%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が減少し、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が増加している。

④子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人の有無 【問10】

気軽に相談できる人が「いる／ある」が94.2%、「いない／ない」が4.4%。

⑤子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先 【問10-1】 ※複数回答

「祖父母等の親族」が84.9%と最も高く、次いで「友人や知人」が72.9%、「保育士」が25.8%と続く。平成25年度調査と比較すると、「保育士」が増加している。

⑥子育てに関する情報の入手状況 【問11】

「十分できている」と「どちらかといえばできている」をあわせた“入手できている”が82.8%、「どちらかといえばできていない」と「できていない」をあわせた“入手できていない”が16.2%

⑦子育てに関する情報の入手手段 【問 12】 ※複数回答

「幼稚園・保育所・認定こども園・学校」が 67.4%と最も高く、次いで「インターネット（SNSを含む）」が 57.6%と続く。

⑧子育てをする中で有効な支援・対策 【問 13】 ※複数回答

「経済的負担の軽減（子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など）」が 58.4%と最も高く、次いで「育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進」が 40.4%と続く。

⑨子育てに関する幸せや楽しさ 【問 15】

子育てに幸せや楽しさを「かなり感じる」が 56.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じる」が 40.3%となっており、合わせて 96.8%の人が幸せや楽しさを感じている。

⑩子育てに関する不安 【問 16】

「すこし不安がある」が 69.3%と最も高く、次いで「ほとんど不安はない」が 22.1%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、「すこし不安がある」が増加し、「ほとんど不安はない」が減少している。

⑪子育ての負担感 【問 17】

「すこし負担に感じる」が 50.2%と最も高く、次いで「ほとんど負担には感じない」が 44.5%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、「すこし負担に感じる」が増加し、「ほとんど負担には感じない」が減少している。

⑫「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の状況 【問 18】

「調和は取れていると思う」が 36.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 32.6%、「調和が取れていないと思う」が 25.2%と続く。

⑬住んでいる地域は子育てがしやすいところか 【問 19】

「そう思う」と「どちらかというと思う」をあわせた“子育てがしやすいところだと思う”が 56.8%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」をあわせた“子育てがしやすいところだとは思わない”が 25.2%。

平成 25 年度調査と比較すると、“子育てがしやすいところだと思う”が減少している。

2 保護者の就労状況

- ・母親の就労形態の現状をみると、「フルタイム」43.9%、「パート・アルバイト等」27.9%、「未就労」25.6%となっている。平成25年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等」は大きな変化がないものの、「フルタイム」が増加、「未就労」が減少しており、保育が必要な家庭が増加していることがうかがえる。
- ・「パート・アルバイト等」で就労している母親のうちの10.0%は「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」に回答し、平成25年度調査と比較すると増加している。また、未就労の母親の29.1%が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」としており、潜在的な保育需要がみられ、保育・教育サービスニーズの増加が予測される。

①保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む） 【問20】

《母親》

「フルタイム」が43.9%、次いで「パート・アルバイト等」が27.9%、「未就労」が25.6%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイム」が増加、「未就労」が減少している。「パート・アルバイト等」は大きな変化がみられない。

《父親》

「フルタイム」が最も多く、回答者全体の90.6%を占める。

②フルタイムへの転換希望 【問20-2】

※問20で「パート・アルバイト等」で就労している人に限定した設問。

《母親のフルタイムへの転換希望》

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が48.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.0%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が増加している。

《父親のフルタイムへの転換希望》

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件。

③就労していない人の就労希望 【問20-3】

※問20で「未就労」と回答した人に限定した設問。

《未就労の母親の就労希望等》

「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」が38.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.1%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が増加している。

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したいか」の年齢の内訳は、2歳以下が18.6%。

3 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

- ・ 定期的な教育・保育事業を「利用している」人が72.3%で、「利用していない」人は27.5%。平成25年度調査と比較すると、「利用している」人が5.1ポイント増加している。
- ・ 定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が76.7%、「子どもの教育や発達のため」が63.7%と高い。平成25年度調査と比較すると、「子育てをしている方が現在就労している」が増加しており、共働き世帯の増加により、教育・保育事業の利用が増加していることがうかがえる。
- ・ 定期的に利用したい教育・保育事業は、保育料等の無償化が実施された場合には、「保育所〔認可保育所〕」が52.1%、次いで「認定こども園」が40.8%、「幼稚園」が32.0%となっている。また、無償化が実施された場合には、「認定こども園の預かり保育」の割合が増加し、平成25年度調査と比較すると、「幼稚園」が減少し、「認定こども園」のニーズが増加している。

①「定期的な教育・保育事業」の利用の有無 【問21】

「利用している」が72.3%、「利用していない」が27.5%。

平成25年度調査と比較すると、「利用している」が増加している。

②年間を通じて「定期的に」利用している事業 【問21-1】 ※複数回答

※問21で「定期的な教育・保育事業を利用している」と回答した人に限定した設問。

「保育所〔認可保育所〕」が52.2%と最も高く、次いで「認定こども園」が27.3%、「幼稚園」が14.3%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「認定こども園」が増加し、「幼稚園」が減少している。

③平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由 【問21-4】 ※複数回答

※問21で「定期的な教育・保育事業を利用している」と回答した人に限定した設問。

「子育てをしている方が現在就労している」が76.7%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が63.7%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「子育てをしている方が現在就労している」が増加している。

④平日の教育・保育事業の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業【問22】

※複数回答

保育料等の無償化が実施された場合には、「保育所〔認可保育所〕」が52.1%と最も高く、次いで「認定こども園」が40.8%、「幼稚園」が32.0%と続く。

無償化が実施された場合には、「認定こども園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」の割合が増加している。

平成25年度調査と比較すると、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」が減少し、「認定こども園」が増加している。

4 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況

- ・大牟田市子育て世代包括支援センター 愛称「はぐはぐ^{おおむた}☺mufa」の認知度は44.0%となっている。
- ・「つどいの広場」など地域子育て支援拠点事業を利用している人は回答者全体の9.1%だが、「利用していないが、今後利用したい」が25.5%となっており、潜在的なニーズがみられる。

①大牟田市子育て世代包括支援センター 愛称「はぐはぐ^{おおむた}☺mufa」の認知度 【問 23】

大牟田市子育て世代包括支援センターを「知っている」が44.0%、「知らない」が55.2%。

②利用している地域子育て支援拠点事業（「つどいの広場」） 【問 25】

「利用していない」が86.9%、「地域子育て支援拠点事業を利用している」が9.1%。

③地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向 【問 26】

「新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない」が64.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が25.5%と続く。

④子育て支援事業の今後の利用意向 【問 27】

《事業の認知度》

『④産婦新生児訪問「赤ちゃん訪問」』で知っている人の割合が高くなっている。一方、『⑤就学前子育て講座』『⑥教育相談室』で知らない人の割合が高くなっている。

《事業の利用経験》

『④産婦新生児訪問「赤ちゃん訪問」』で利用したことがある人の割合が高くなっている。一方、『①大牟田市子育て世代包括支援センター』『⑤就学前子育て講座』『⑥教育相談室』『⑨子ども家庭支援センター「あまぎやま」』『⑩児童家庭相談室』で利用したことがない人の割合が高くなっている。

《事業の利用意向》

『⑪子育て情報誌「おおむたっ子」』で利用したいの割合が高くなっている。また、『⑨子ども家庭支援センター「あまぎやま」』で利用意向がない人の割合が高くなっている。

5 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

・「定期的」な教育・保育事業の利用希望は、土曜日に「ほぼ毎週利用したい」が 28.9%、日曜・祝日の「月に 1～2 回は利用したい」が 20.8%、幼稚園等の長期休暇中に「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 43.0%など、土日・休日等の「定期的な」教育・保育事業に対して、潜在的なニーズがあることがうかがえる。

①土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望 【問 28】

《土曜日の利用希望》

「利用する必要はない」が 44.4%と最も高く、次いで「ほぼ毎週利用したい」が 28.9%、「月に 1～2 回は利用したい」が 22.8%と続く。

《日曜・祝日の利用希望》

「利用する必要はない」が 73.5%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 20.8%と続く。

②幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

【問 29】 ※複数回答

※幼稚園、認定こども園を利用していると回答した人に限定した設問。

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 43.0%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が 28.5%、「利用する必要はない」が 22.4%と続く。

6 お子さんの病気の際の対応

- ・お子さんの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験がある人が 75.0%。
- ・その際の対処法として、80.3%が「母親が休んだ」22.3%が「父親が休んだ」としており、共働き家庭の増加を背景に「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が減少している。
- ・38.3%の人が「できれば病児・病後児保育を利用したい」と回答している。

①お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験 【問 30】

「あった」が 75.0%、「なかった」が 21.4%。

②お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処法 【問 30-1】

※複数回答

「母親が休んだ」が 80.3%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 46.5%、「父親が休んだ」が 22.3%と続く。

平成 25 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」が増加し、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が減少している。

③病児・病後児保育施設等の利用意向 【問 30-2】

※問 30-1 で「父親または母親が休んだ」と回答した人に限定した設問。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 38.3%、「利用したいとは思わない」が 60.7%。

7 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

- ・一時預かりについて今後、30.6%の人が「利用したい」と回答している。利用したい目的としては、「私用、リフレッシュ目的」が65.2%と高く、平成25年度調査と比較すると「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が高くなっており60.1%となっている。
- ・保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）による家族以外による泊まりがけの対処経験がある人が15.3%おり、対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が79.7%と最も高いものの、平成25年度調査と比較すると減少している。

①私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業【問31】

※複数回答

「利用していない」が84.2%と最も高く、これに「幼稚園の預かり保育」の9.2%、「一時預かり」の2.4%と続く。

②不定期の教育・保育事業の利用意向 【問32】 ※複数回答

「利用したい」が30.6%、「利用する必要はない」が60.6%。

「利用したい」理由（複数回答）としては、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が65.2%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が60.1%、「不定期の就労」が25.0%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が増加している。

③保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）による家族以外による泊まりがけの対処経験 【問33】 ※複数回答

「あった」が15.3%、「なかった」が79.9%。

この一年間の対処方法（複数回答）としては、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が79.7%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が13.8%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が減少している。

8 職場の両立支援制度について

- ・母親の41.1%が育児休業を「取得した（取得中である）」と回答しており、平成25年調査と比較すると増加している。一方、父親で「取得した（取得中である）」は2.7%と変化はみられていない。
- ・育児休業を利用していない理由は、母親では、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が25.0%、「子育てや家事に専念するため退職した」が22.7%と高く、父親では「仕事が忙しかった」が34.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が31.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が31.0%と高い。

①お子さんが産まれた際の育児休業の取得状況 【問34】

《母親》

「働いていなかった」が41.7%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が41.1%、「取得していない」が14.7%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」が増加している。

《父親》

「取得していない」が82.4%、「取得した（取得中である）」が2.7%。

②育児休業を利用していない理由 【問34】

《母親》

「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が25.0%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が22.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が14.4%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」が増加している。一方、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「子育てや家事に専念するため退職した」が減少している。

《父親》

「仕事が忙しかった」が34.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が31.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が31.0%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」が増加している。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が減少している。

③実際の復帰と希望が異なる方の希望の時期に職場復帰しなかった理由 【問34-6】

※問34-4で育児休業取得後、職場復帰した人で復帰時期と希望が異なる人に限定した設問。

《母親》

「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が35.9%と最も高く、次いで「希望する保育所などに入るため」が23.4%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が22.8%と続く。

《父親》

「希望する保育所などに入るため」「配偶者や家族の希望があったため」「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が1件ずつとなっている。

9 (子どもが5歳以上のみ) 小学校就学後の放課後の過ごし方

- ・50.0%の保護者が小学校低学年のうちに「放課後児童クラブ」で過ごさせたいとしており、平成25年度調査と比較すると高くなっている。
- ・高学年になった時は「放課後児童クラブ」が20.6%と低学年と比較すると低くなっている。
- ・放課後児童クラブに対する利用意向を持った保護者の土曜・休日や長期休暇中の利用意向をみると、平成25年度調査と比較すると「利用したい」が増加しており、土曜日と日曜日・祝日及び長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向は高くなっている。

※5歳以上の子どものみに限定した設問。

①小学校低学年(1～3年生)のうちの放課後子どもを過ごさせたい場所等 【問36】

※複数回答

「放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕」が50.0%と最も高く、次いで「自宅」が38.1%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が28.6%と続く。

平成25年度調査と比較すると、「自宅」「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」「放課後子ども教室」が減少し、「放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕」が増加している。

②小学校高学年(4～6年生)になった時に放課後子どもを過ごさせたい場所等 【問37】

※複数回答

「自宅」が66.7%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が44.4%、「放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕」が20.6%と続く。

③土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向 【問38】

※問36または37で「放課後児童クラブ(学童保育所・学童クラブ)」を選択した人に限定した設問。

《土曜日の放課後児童クラブの利用意向》

「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が34.9%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が28.6%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が25.4%と続く。

平成25年度調査と比較すると、低学年、高学年ともに「利用したい」が増加し、「利用する必要はない」が減少している。

《日曜・祝日の放課後児童クラブの利用意向》

「利用する必要はない」が58.7%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が15.9%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が14.3%と続く。

平成25年度調査と比較すると、低学年、高学年ともに「利用したい」が増加し、「利用する必要はない」が減少している。

《長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望》 【問39】

「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が34.1%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が25.4%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が22.2%と続く。

平成25年度調査と比較すると、低学年、高学年ともに「利用したい」が増加し、「利用する必要はない」が減少している。

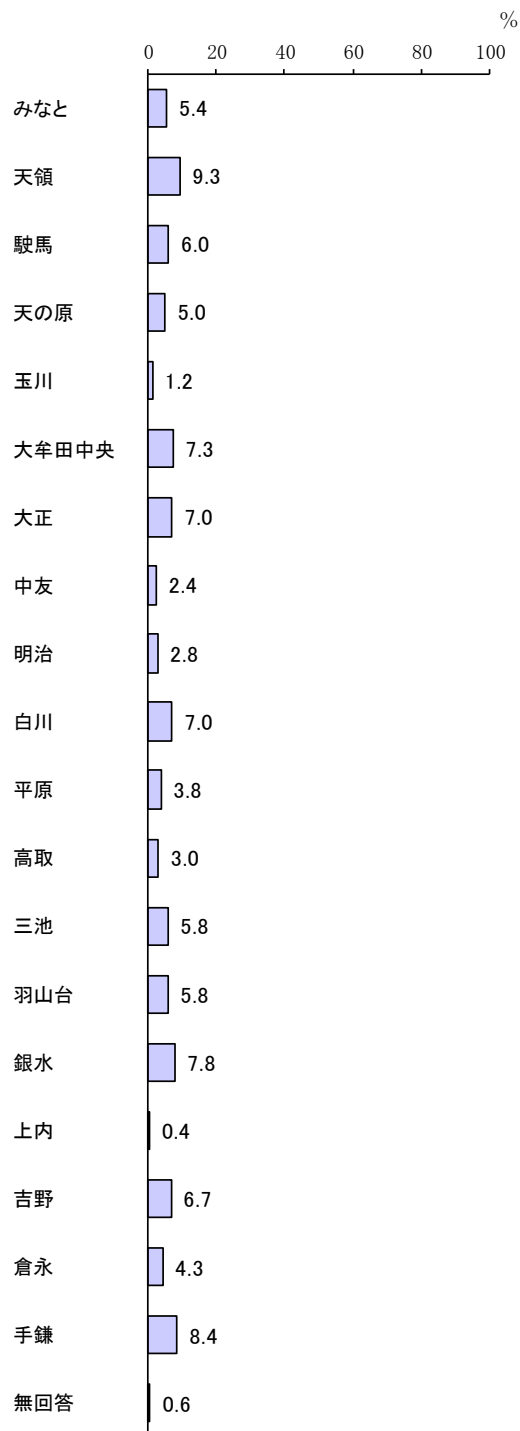
Ⅲ 調査結果

1 居住地域

問1 お住まいの小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

回答者の小学校区別の分布は、右図の通り。

回答者数 = 901



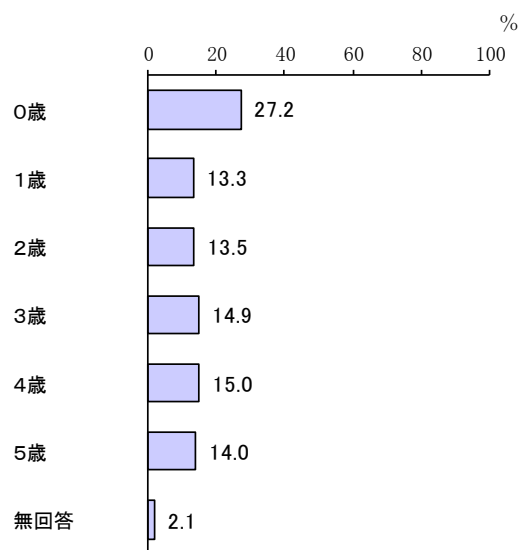
2 子どもと家族の状況

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

子どもの年齢

回答者数 = 901

子どもの年齢別の分布は、右図の通り。

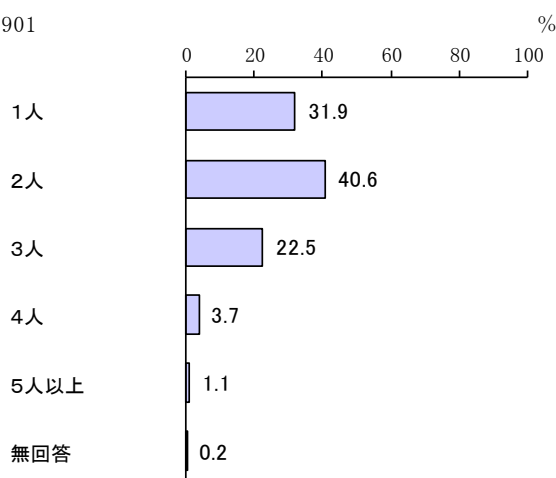


問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(1) きょうだい数

回答者数 = 901

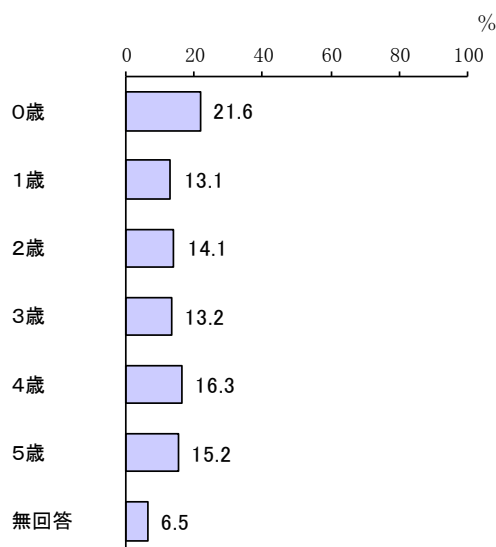
「2人」が40.6%と最も高く、次いで「1人」が31.9%、「3人」が22.5%となっています。



(2) 末子の年齢

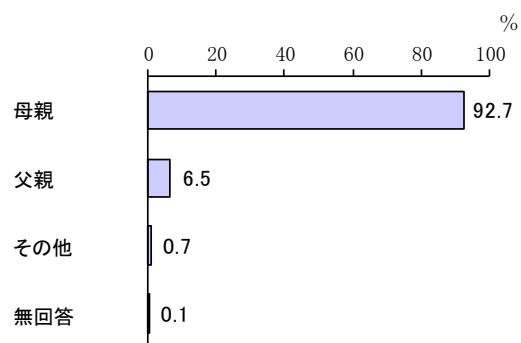
回答者数 = 612

「0歳」が21.6%と最も高く、次いで「4歳」が16.3%、「5歳」が15.2%となっています。



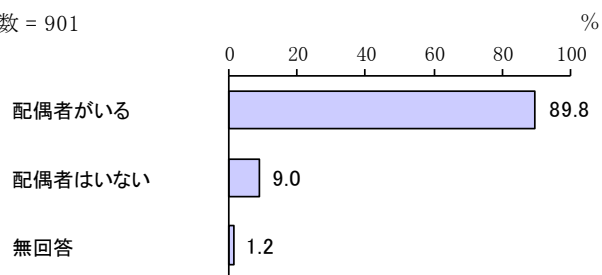
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が92.7%、「父親」が6.5%と
なっています。 回答者数 = 901



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

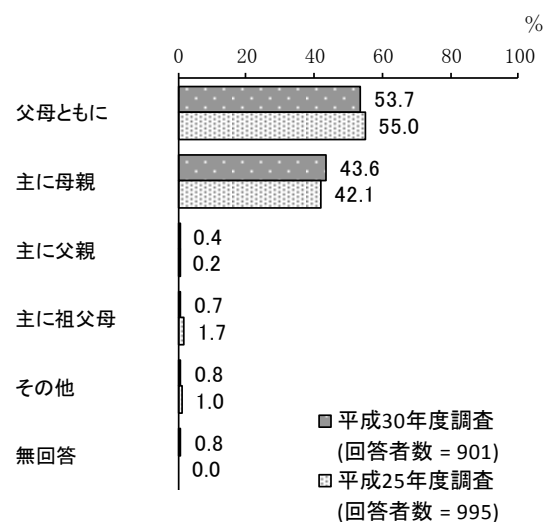
「配偶者がいる」が89.8%、「配偶者は
いない」が9.0%となっています。 回答者数 = 901



3 子どもの育ちをめぐる環境

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

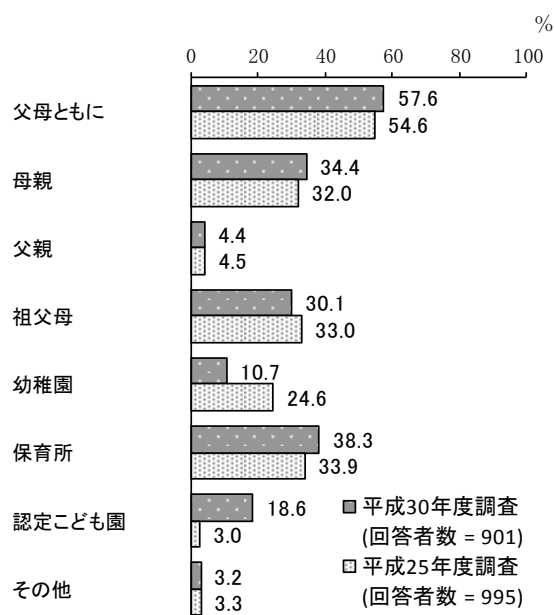
「父母ともに」が 53.7%と最も高く、次いで「主に母親」が 43.6%となっています。



問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」が 57.6%と最も高く、次いで「保育所」が 38.3%、「母親」が 34.4%となっています。

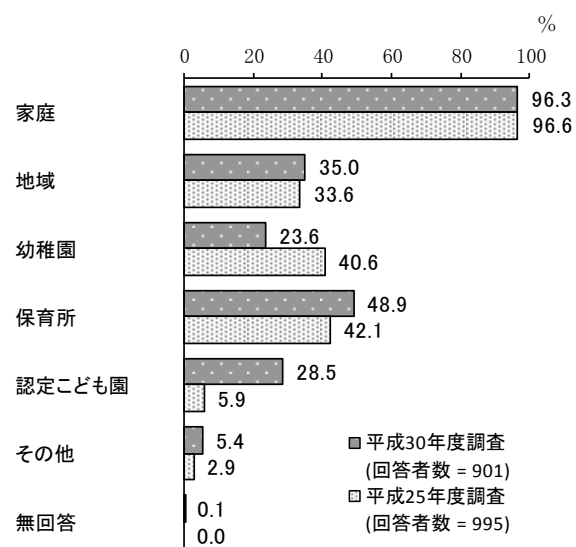
平成 25 年度調査と比較すると、「認定こども園」が増加しています。一方、「幼稚園」が減少しています。



問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」が 96.3%と最も高く、次いで「保育所」が 48.9%、「地域」が 35.0%となっています。

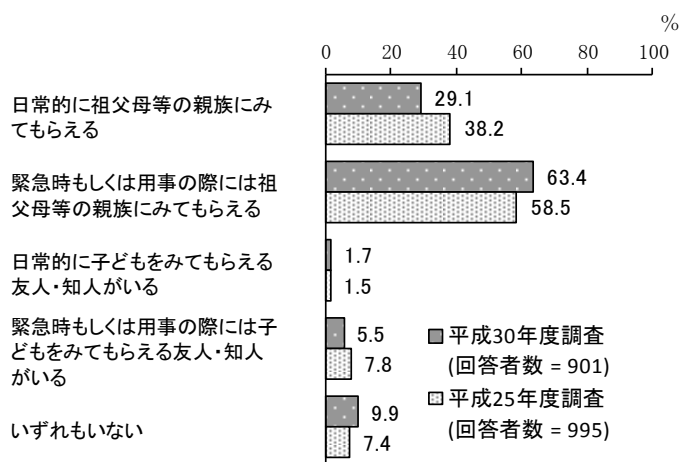
平成 25 年度調査と比較すると、「保育所」「認定こども園」が増加しています。一方、「幼稚園」が減少しています。



問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 63.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 29.1%となっています。

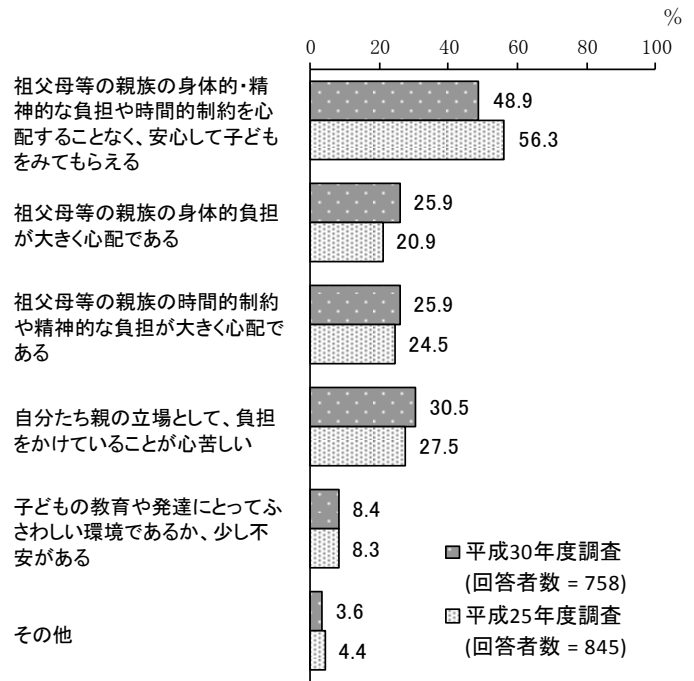
平成 25 年度調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が減少しています。



問9-1 問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。
 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が48.9%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が30.5%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が25.9%となっています。

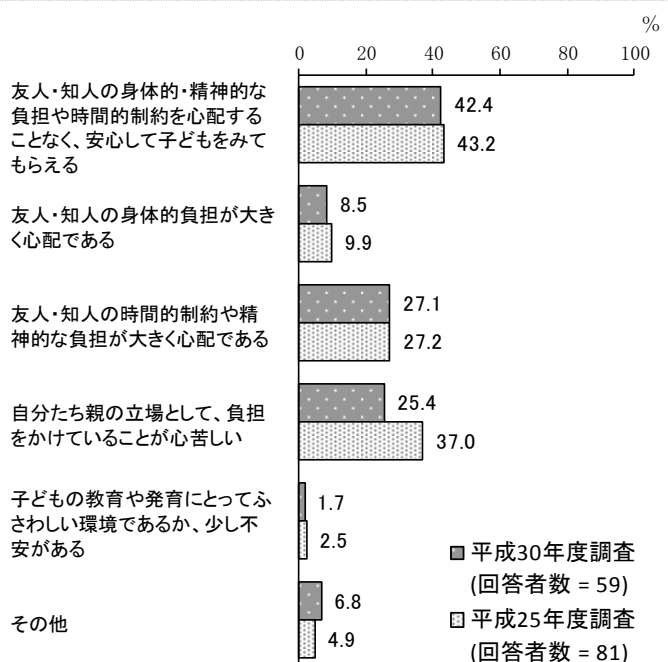
平成25年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が減少し、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が増加しています。



問9-2 問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。
 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

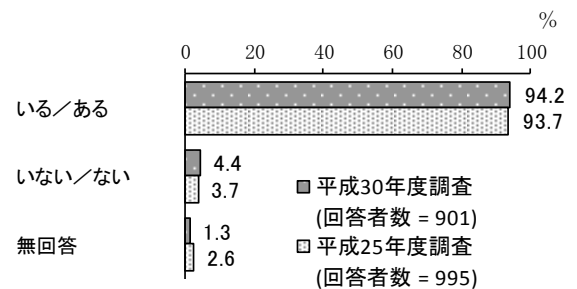
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が42.4%と最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が27.1%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が減少しています。



問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

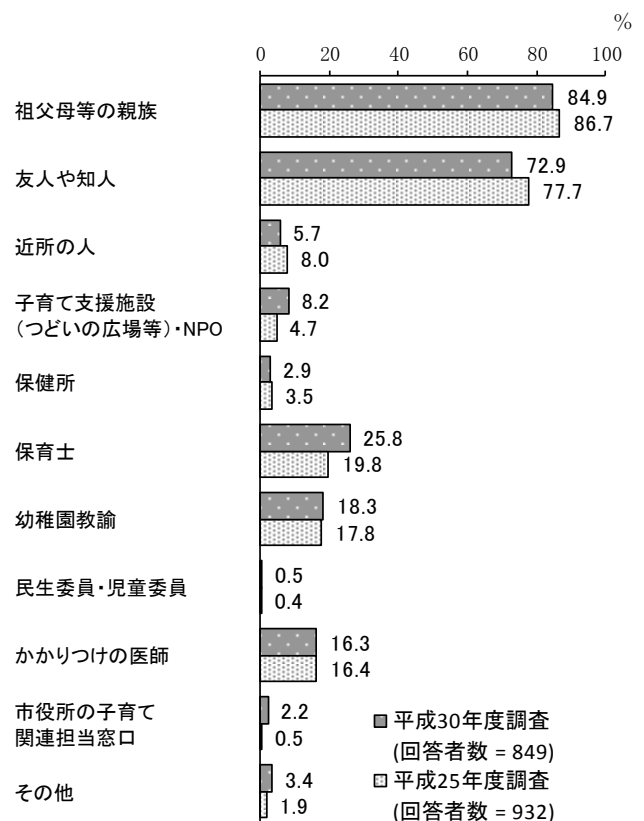
「いる／ある」が 94.2%、「いない／ない」が 4.4%となっています。



問 10－1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

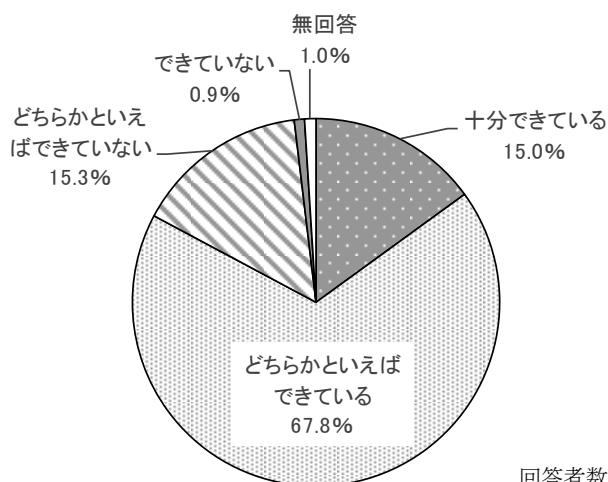
「祖父母等の親族」が 84.9%と最も高く、次いで「友人や知人」が 72.9%、「保育士」が 25.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「保育士」が増加しています。



問 11 子育てに関する情報は十分に入手できていますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「十分できている」と「どちらかといえ
ばできている」をあわせた“入手できてい
る”が 82.8%、「どちらかといえ
ばできていない」と「できていない」をあわせた“入
手できていない”が 16.2%となっていま
す。



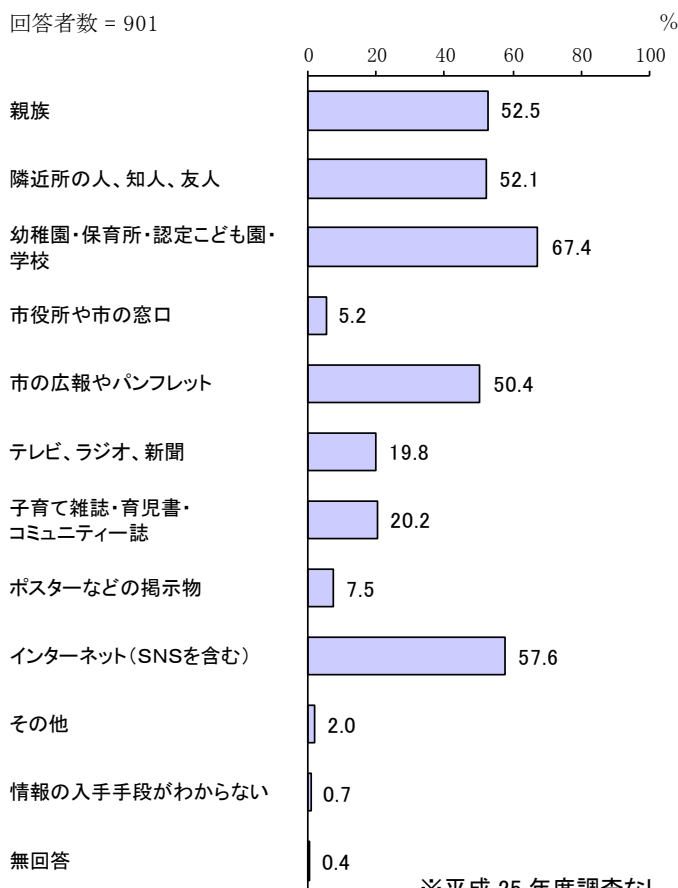
回答者数 = 901

※平成 25 年度調査なし

問 12 子育てに関する情報をどのように入手していますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園・保育所・認定こども園・学校」
が 67.4%と最も高く、次いで「インター
ネット（SNSを含む）」が 57.6%、「親
族」が 52.5%となっています。

回答者数 = 901

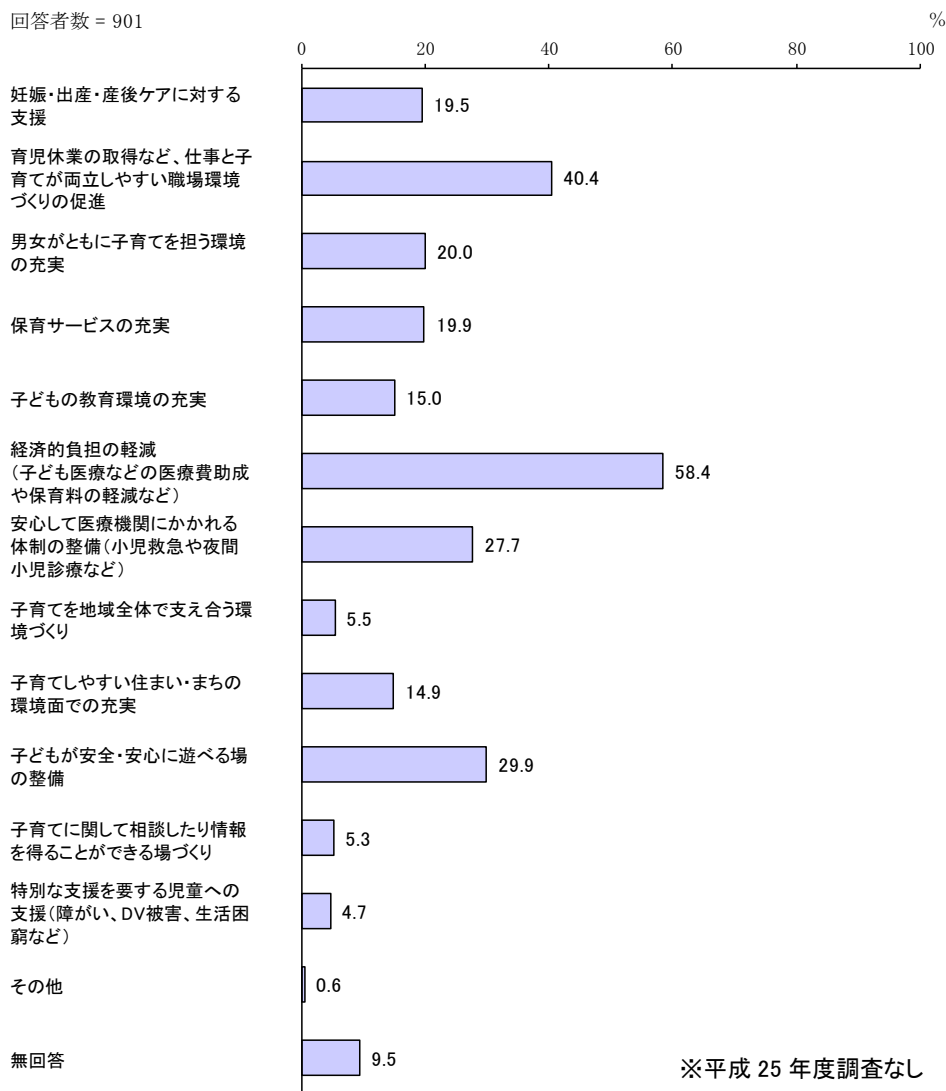


※平成 25 年度調査なし

問 13 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。
 当てはまる番号のうち特に重要なもの（3つまで）に○をつけてください。

「経済的負担の軽減（子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など）」が 58.4%と最も高く、次いで「育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進」が 40.4%、「子どもが安全・安心に遊べる場の整備」が 29.9%となっています。

回答者数 = 901



※平成 25 年度調査なし

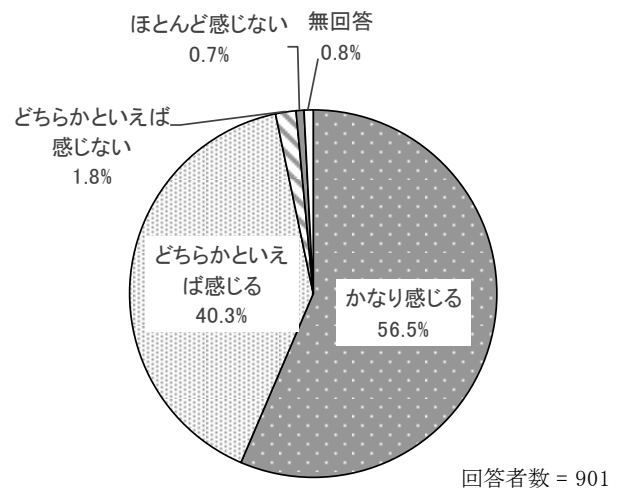
問 14 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な意見は以下の通りです。

- ・気軽に相談できる場所・人がほしい。(19 件)
- ・病児・病後児保育がほしい。(13 件)
- ・気軽に子どもを預かってくれる場所がほしい。(11 件)
- ・子育てに関する情報を積極的に発信してほしい。(7 件)
- ・定期的な訪問をしてほしい。(7 件)
- ・子育てしながら働きやすいよう職場の理解がほしい。(5 件)

問 15 子育てに幸せや楽しさを感じますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「かなり感じる」が56.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じる」が40.3%となっており、合わせて 96.8%の人が幸せや楽しさを感じています。

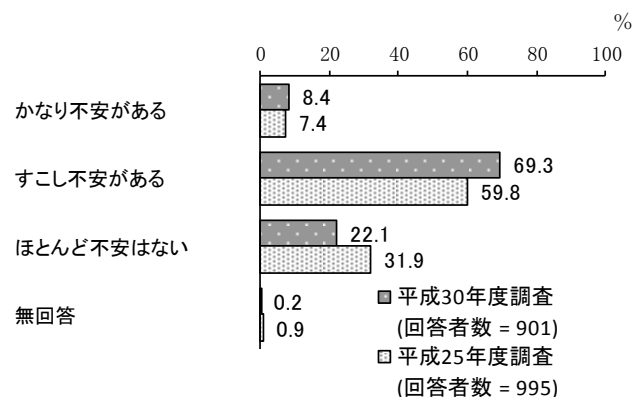


※平成 25 年度調査なし

問 16 子育てに関する不安はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「すこし不安がある」が 69.3%と最も高く、次いで「ほとんど不安はない」が22.1%となっています。

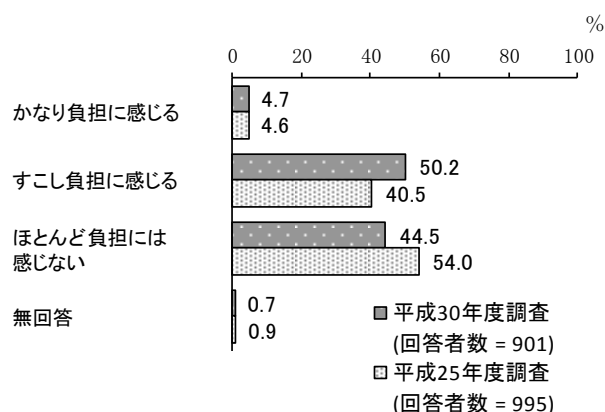
平成 25 年度調査と比較すると、「すこし不安がある」が増加し、「ほとんど不安はない」が減少しています。



問 17 子育てを負担に感じますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「すこし負担に感じる」が 50.2%と最も高く、次いで「ほとんど負担には感じない」が 44.5%となっています。

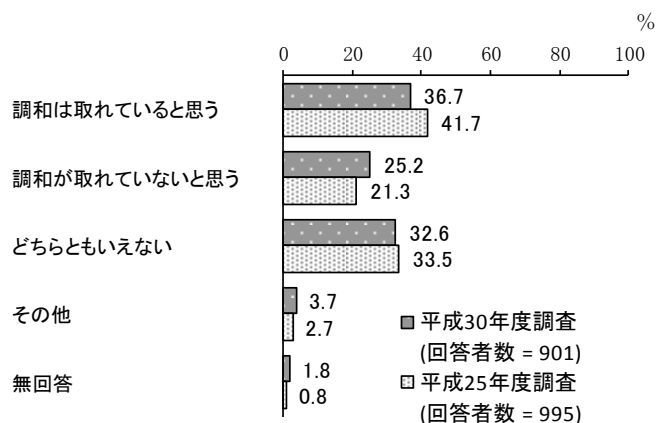
平成 25 年度調査と比較すると、「すこし負担に感じる」が増加し、「ほとんど負担には感じない」が減少しています。



問 18 「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の調和は取れていると思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「調和は取れていると思う」が 36.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 32.6%、「調和が取れていないと思う」が 25.2%となっています。

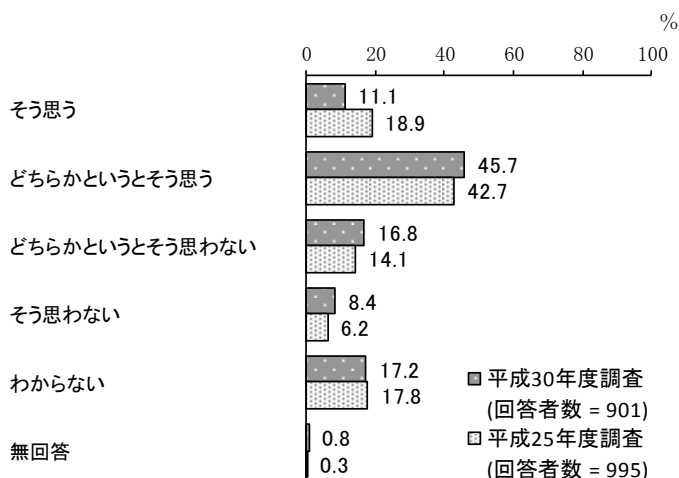
平成 25 年度調査と比較すると、「調和は取れていると思う」が減少しています。



問 19 あなたの住んでいる地域は、子育てがしやすいところだと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「そう思う」と「どちらかというと思う」をあわせた“子育てがしやすいところだと思う”が 56.8%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」をあわせた“子育てがしやすいところだとは思わない”が 25.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「そう思う」が減少しています。



問 19－１ その理由は何ですか。ご自由にお書きください。

(１) 子育てしやすいと思う理由

主な意見は以下の通りです。

- ・施設（保育園、幼稚園、学校、医療施設、公園、買い物）が近く、利便性が高い。安心できる。(101 件)
- ・近所の人がよくしてくれるから。近所付き合いがよいから。(39 件)
- ・年齢の近い子どもが多く遊びやすいから。(23 件)
- ・公園が充実している。(21 件)
- ・幼稚園に入りやすい(17 件)
- ・見守り隊など、地域で見守りをしてくれるから。(17 件)
- ・特に問題がないから(16 件)
- ・医療機関や医療費補助が充実しているから。(14 件)
- ・静かな環境があるから。(12 件)
- ・子どもの活動場所があるから。(10 件)
- ・相談できる友人・知人がいるから。(8 件)
- ・子どものイベントが多いから。(7 件)
- ・行政サービス、福祉が手厚いから。(6 件)

(２) 子育てしやすいと思わない理由

主な意見は以下の通りです。

- ・子どもの遊び場がないから。(25 件)
- ・医療費助成が充実していないから。(22 件)
- ・道路が危険だから。(19 件)
- ・行政サービスが充実していないから。(16 件)
- ・公園が古い、汚い、安心して遊ばせられないから。(13 件)
- ・医療サービス、医療機関が充実していないから。(11 件)
- ・子どもが少ないから。(11 件)
- ・保育料が高いから。(10 件)
- ・近所付き合いがないから。(10 件)
- ・登下校の安全性に不安がある。(8 件)
- ・他の市町村に比べて子育てしにくいから。(7 件)

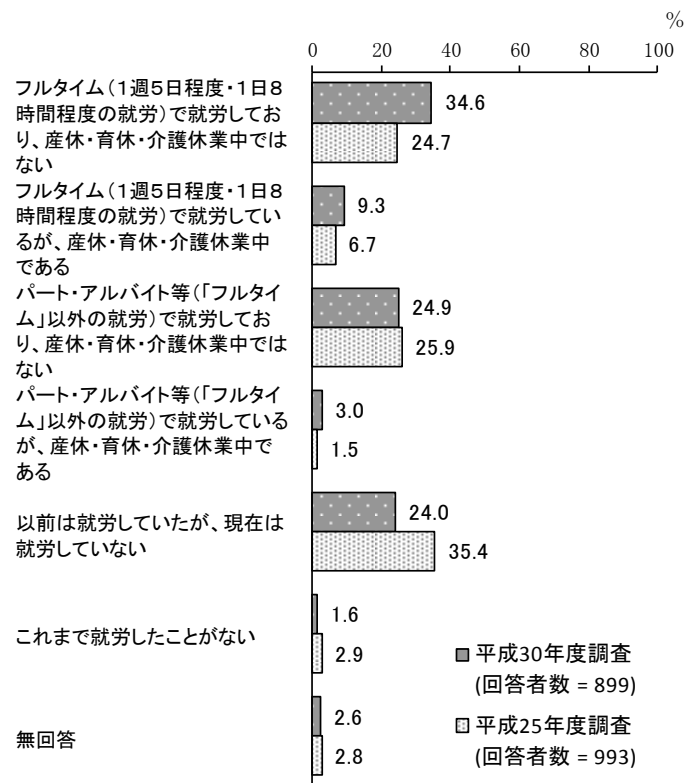
4 保護者の就労状況

問 20 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。【ひとり親の方の場合は、ご自身の設問のみお答え下さい。】

①母親

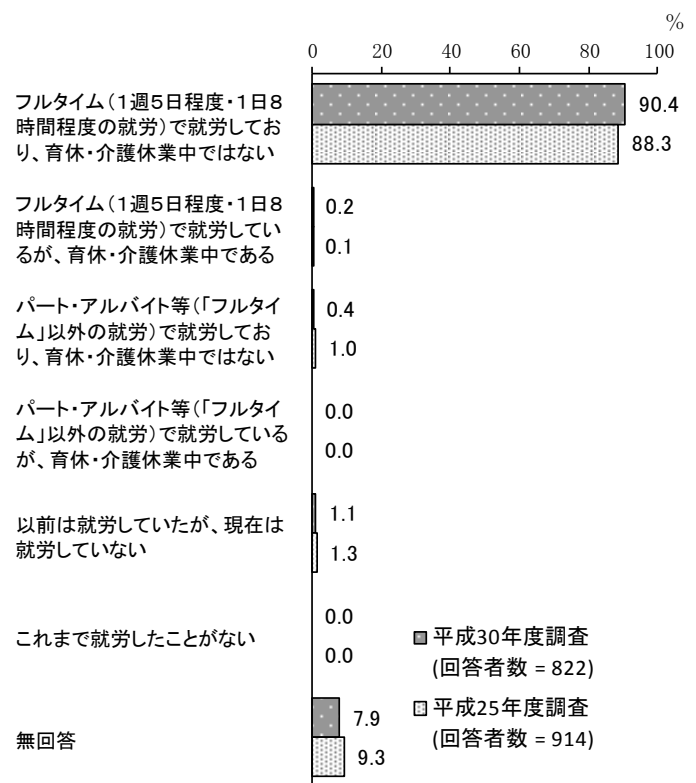
「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 34.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 24.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 24.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が減少しています。



②父親

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 90.4%と最も高くなっています。



問 20－１ 問 20 で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
週当たりの「就労日数」と１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、また、
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。一定でない場合は、もっとも多い
パターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入
る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）０８時～１８時のよ
うに、２４時間制でお答えください。

①母親

ア．１週あたり就労日数

「５日」が 68.9%と最も高く、次いで「６日」が 15.6%、「４日」が 10.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「５日」が増加し、「６日」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
１日	3	0.5	3	0.5
２日	4	0.6	12	2.1
３日	22	3.5	23	4.0
４日	65	10.4	62	10.8
５日	433	68.9	328	57.3
６日	98	15.6	141	24.7
７日	3	0.5	3	0.5
合計	628	100.0	572	100.0

※無回答を除く

イ．１日あたり就労時間

「８時間～９時間未満」が 38.3%と最も高く、次いで「６時間～７時間未満」が 14.3%、「７時間～８時間未満」が 14.1%となっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
４時間未満	18	2.9	25	4.4
４時間～５時間未満	43	6.9	50	8.8
５時間～６時間未満	73	11.7	91	16.0
６時間～７時間未満	89	14.3	68	11.9
７時間～８時間未満	88	14.1	71	12.5
８時間～９時間未満	239	38.3	204	35.8
９時間～10時間未満	38	6.1	37	6.5
10時間～11時間未満	24	3.8	17	3.0
11時間～12時間未満	7	1.1	1	0.2
12時間以上	5	0.8	6	1.1
合計	624	100.0	570	100.0

※無回答を除く

ウ．家を出る時刻

「８時台」が 57.3%と最も高く、次いで「７時台」が 21.6%、「９時台」が 15.2%となっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
６時より前	2	0.3	3	0.5
６時台	6	1.0	4	0.7
７時台	134	21.6	99	17.5
８時台	355	57.3	308	54.5
９時台	94	15.2	105	18.6
10 時台	20	3.2	28	5.0
11 時以降	9	1.5	18	3.4
合計	620	100.0	565	100.0

※無回答を除く

エ．帰宅時刻

「18 時台」が 38.6%と最も高く、次いで「17 時台」が 20.8%、「19 時台」が 11.5%となっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
14 時より前	32	5.2	34	6.1
14 時台	26	4.2	24	4.3
15 時台	41	6.7	60	10.6
16 時台	61	9.9	55	9.8
17 時台	128	20.8	112	19.9
18 時台	238	38.6	197	34.9
19 時台	71	11.5	59	10.5
20 時台	9	1.5	14	2.5
21 時台	6	1.0	4	0.7
22 時以降	4	0.6	5	0.9
合計	616	100.0	564	100.0

※無回答を除く

②父親

ア. 1週あたり就労日数

「5日」が54.6%と最も高く、次いで「6日」が39.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「6日」が減少しています。

日	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	1	0.1	0	0.0
2日	5	0.7	3	0.4
3日	10	1.4	6	0.8
4日	11	1.5	8	1.0
5日	388	54.6	398	50.7
6日	279	39.3	357	45.5
7日	16	2.3	13	1.7
合計	710	100.0	785	100.0

※無回答を除く

イ. 1日あたり就労時間

「8時間～9時間未満」が43.7%と最も高く、次いで「12時間以上」が17.4%、「9時間～10時間未満」が16.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」が増加し、「10時間～11時間未満」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
4時間未満	2	0.3	0	0.0
4時間～5時間未満	3	0.4	1	0.1
5時間～6時間未満	0	0.0	3	0.4
6時間～7時間未満	2	0.3	0	0.0
7時間～8時間未満	15	2.2	14	2.1
8時間～9時間未満	304	43.7	257	38.5
9時間～10時間未満	112	16.1	93	13.9
10時間～11時間未満	100	14.4	132	19.8
11時間～12時間未満	37	5.3	32	4.8
12時間以上	121	17.4	135	20.0
合計	696	100.0	667	100.0

※無回答を除く

ウ. 家を出る時刻

「7時台」が43.2%と最も高く、次いで「8時台」が33.4%となっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
6時より前	37	5.4	25	3.4
6時台	61	8.9	81	10.6
7時台	297	43.2	319	41.9
8時台	230	33.4	253	33.2
9時台	41	6.0	39	5.1
10時台	8	1.2	12	1.6
11時以降	14	2.0	32	4.3
合計	688	100.0	761	100.0

※無回答を除く

エ. 帰宅時刻

「19時台」が26.1%と最も高く、次いで「18時台」が24.9%、「20時台」が17.2%となっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
14時より前	31	4.5	43	5.7
14時台	1	0.1	3	0.4
15時台	4	0.6	2	0.3
16時台	11	1.6	11	1.5
17時台	45	6.6	45	5.9
18時台	171	24.9	169	22.3
19時台	179	26.1	178	23.5
20時台	118	17.2	144	19.0
21時台	65	9.5	78	10.3
22時以降	62	9.0	84	11.1
合計	687	100.0	757	100.0

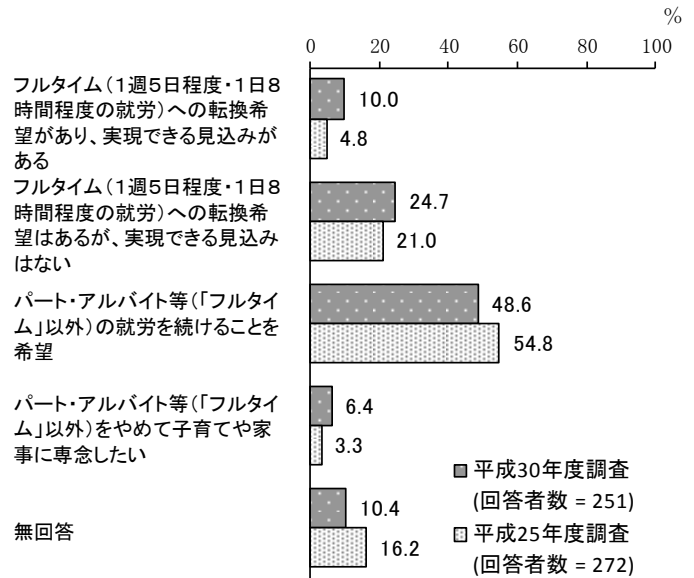
※無回答を除く

問 20－2 問 20 で「3. または 4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

①母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が 48.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 24.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 10.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が増加しています。一方、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が減少しています。



②父親

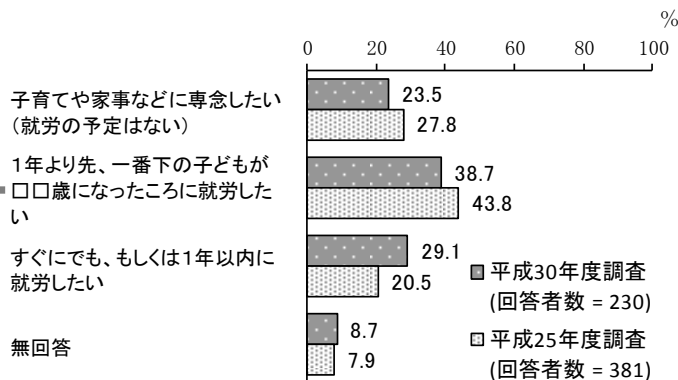
「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 1 件となっています。

問 20－3 問 20 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

①母親

「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が38.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.1%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が23.5%となっています。

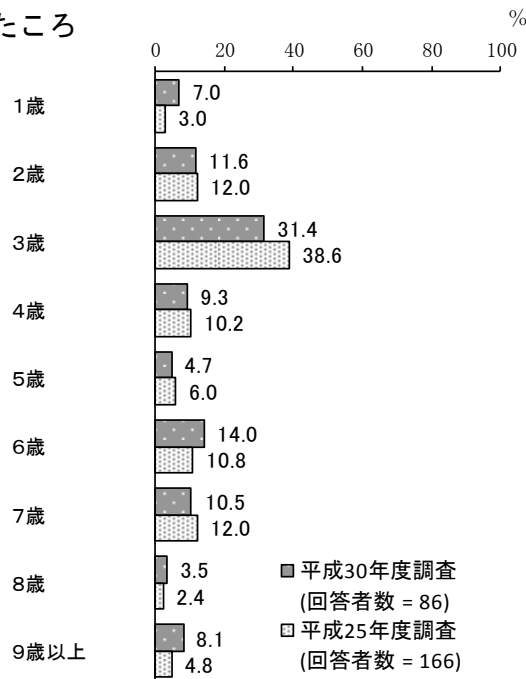
平成25年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が減少しています。



ア. 就労希望時期 一番下の子どもが()歳になったころ

「3歳」が31.4%と最も高く、次いで「6歳」が14.0%、「2歳」が11.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「3歳」が減少しています。



※無回答を除く

イ. 希望する就労形態

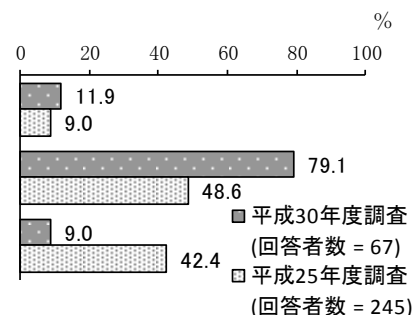
「フルタイム」が11.9%、「パートタイム、アルバイト等」が79.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等」が増加しています。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)

無回答



ウ. 1週あたりの就労希望日数

(パートタイム、アルバイト等)

「5日」が36.5%と最も高く、次いで「3日」が30.8%、「4日」が26.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「3日」が増加し、「5日」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	1	1.9	0	0.0
2日	1	1.9	3	2.5
3日	16	30.8	20	16.9
4日	14	26.9	36	30.5
5日	19	36.5	58	49.2
6日	1	1.9	1	0.8
7日	0	0.0	0	0.0
合計	52	100.0	118	100.0

※無回答を除く

エ. 1日あたりの就労希望時間

(パートタイム、アルバイト等)

「5時間～6時間未満」が43.1%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」が29.4%、「6時間～7時間未満」が17.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「4時間未満」「6時間～7時間未満」が増加し、「5時間～6時間未満」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
4時間未満	4	7.8	3	2.5
4時間～5時間未満	15	29.4	40	33.9
5時間～6時間未満	22	43.1	60	50.8
6時間～7時間未満	9	17.6	12	10.2
7時間～8時間未満	1	2.0	2	1.7
8時間～9時間未満	0	0.0	1	0.8
9時間以上	0	0.0	0	0.0
合計	51	100.0	118	100.0

※無回答を除く

②父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が5件となっています。「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が2件となっています。

ア. 就労希望時期

一番下の子どもが()歳になったころ

有効回答がありませんでした。

「フルタイム」が4件、「パートタイム、アルバイト等」が1件となっています。

イ. 希望する就労形態

ウ. 1週あたりの就労希望日数

(パートタイム、アルバイト等)

「5日」が1件となっています。

エ. 1日あたりの就労希望時間

(パートタイム、アルバイト等)

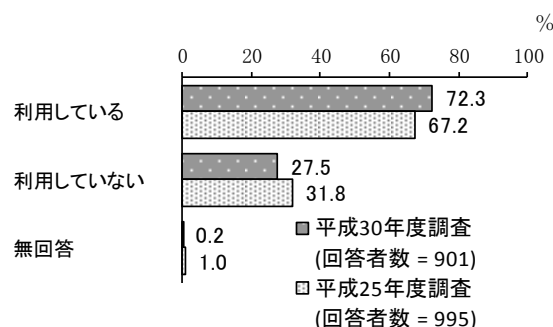
「4時間～5時間未満」が1件となっています。

5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 21 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所や認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」が72.3%、「利用していない」が27.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用している」が増加しています。



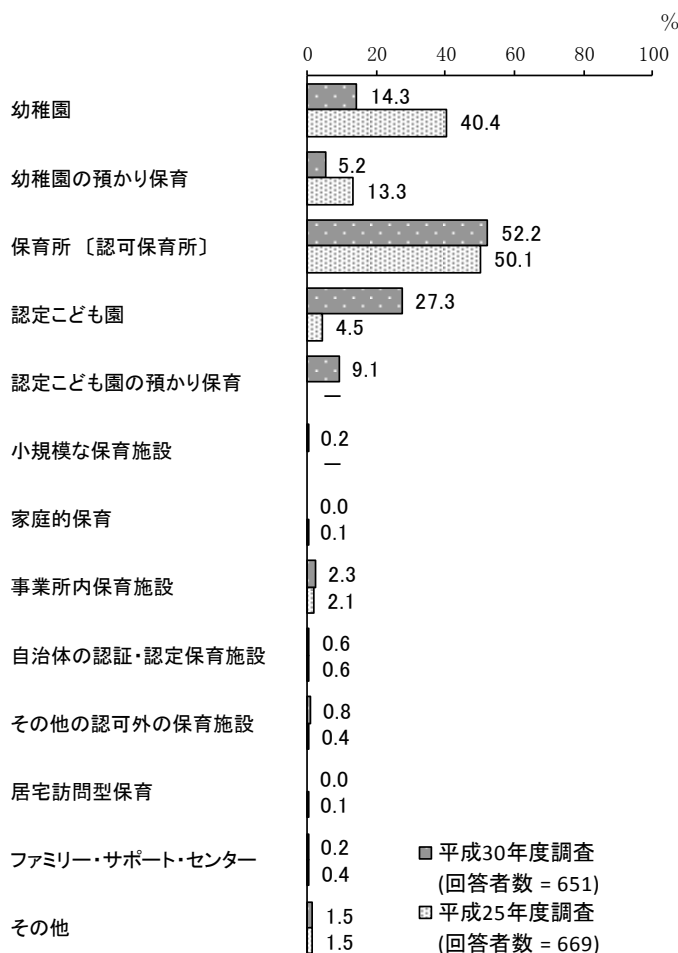
問 21-1 問 21-1～問 21-4は、問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育所〔認可保育所〕」が52.2%と最も高く、次いで「認定こども園」が27.3%、「幼稚園」が14.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「認定こども園」「認定こども園の預かり保育」が増加しています。一方、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」が減少しています。



※平成25年度調査では「認定こども園の預かり保育」「小規模な保育施設」の選択肢はありませんでした。

問 21ー2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）0 9 時～1 8 時のように 2 4 時間制でご記入ください。

①週当たりの利用日数

（１）現在

「5 日」が 58.1%と最も高くなっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	1	0.2	6	0.9
2 日	2	0.3	8	1.2
3 日	1	0.2	3	0.5
4 日	2	0.3	1	0.2
5 日	371	58.1	353	54.4
6 日	262	41.0	277	42.7
7 日	0	0.0	1	0.2
合計	639	100.0	649	100.0

※無回答を除く

（２）希望

「6 日」が 51.9%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 45.8%となっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	1	0.2	3	0.7
2 日	1	0.2	3	0.7
3 日	2	0.5	4	0.9
4 日	2	0.5	1	0.2
5 日	202	45.8	215	47.9
6 日	229	51.9	217	48.3
7 日	4	0.9	6	1.3
合計	441	100.0	449	100.0

※無回答を除く

②1 日あたり利用時間

（１）現在

「9 時間～10 時間未満」が 24.0%と最も高く、次いで「8 時間～9 時間未満」が 22.6%、「10 時間～11 時間未満」が 17.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「9 時間～10 時間未満」が増加し、「6 時間～7 時間未満」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
4 時間未満	4	0.6	12	1.9
4 時間～5 時間未満	7	1.1	11	1.7
5 時間～6 時間未満	58	9.2	61	9.5
6 時間～7 時間未満	68	10.7	121	18.9
7 時間～8 時間未満	73	11.5	88	13.8
8 時間～9 時間未満	143	22.6	136	21.3
9 時間～10 時間未満	152	24.0	112	17.5
10 時間～11 時間未満	108	17.1	78	12.2
11 時間～12 時間未満	15	2.4	18	2.8
12 時間以上	5	0.8	2	0.4
合計	633	100.0	639	100.0

※無回答を除く

（２）希望

「9 時間～10 時間未満」が 22.0%と最も高く、次いで「8 時間～9 時間未満」が 21.1%、「10 時間～11 時間未満」が 20.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「9 時間～10 時間未満」が増加し、「8 時間～9 時間未満」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
4 時間未満	2	0.5	5	1.2
4 時間～5 時間未満	0	0.0	1	0.2
5 時間～6 時間未満	14	3.2	9	2.1
6 時間～7 時間未満	37	8.6	42	9.6
7 時間～8 時間未満	56	13.0	73	16.7
8 時間～9 時間未満	91	21.1	123	28.1
9 時間～10 時間未満	95	22.0	70	16.0
10 時間～11 時間未満	87	20.2	71	16.2
11 時間～12 時間未満	27	6.3	32	7.3
12 時間以上	22	5.1	12	2.7
合計	431	100.0	438	100.0

※無回答を除く

③利用開始時刻

(1) 現在

「8 時台」が 50.8%と最も高く、次いで「9 時台」が 37.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「8 時台」が増加し、「9 時台」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
7 時より前	1	0.2	0	0.0
7 時台	39	6.2	29	4.5
8 時台	322	50.8	275	42.9
9 時台	237	37.4	291	45.4
10 時台	32	5.0	40	6.2
11 時以降	3	0.5	6	1.1
合計	634	100.0	641	100.0

※無回答を除く

(2) 希望

「8 時台」が 47.8%と最も高く、次いで「9 時台」が 37.4%、「7 時台」の割合が 11.6%となっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
7 時より前	1	0.2	1	0.2
7 時台	50	11.6	40	9.1
8 時台	206	47.8	193	44.0
9 時台	161	37.4	186	42.4
10 時台	12	2.8	16	3.6
11 時以降	1	0.2	3	0.7
合計	431	100.0	439	100.0

※無回答を除く

④利用終了時刻

(1) 現在

「17 時台」が 33.9%と最も高く、次いで「18 時台」が 25.0%、「16 時台」が 15.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「18 時台」が増加し、「15 時台」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
13 時より前	3	0.5	10	1.7
13 時台	0	0.0	2	0.3
14 時台	75	11.9	90	14.1
15 時台	75	11.9	116	18.1
16 時台	100	15.8	106	16.6
17 時台	214	33.9	197	30.8
18 時台	158	25.0	109	17.0
19 時台	7	1.1	10	1.6
合計	632	100.0	640	100.0

※無回答を除く

(2) 希望

「17 時台」が 30.4%と最も高く、次いで「18 時台」が 27.1%、「16 時台」が 15.8%となっています。

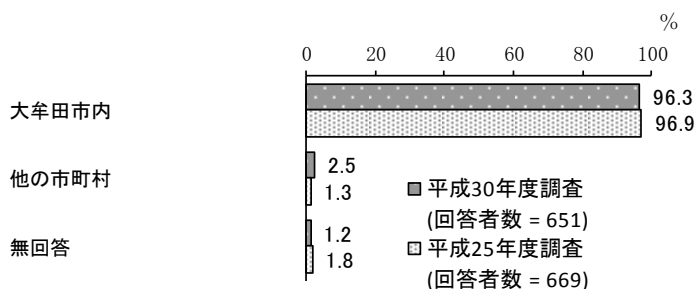
平成 25 年度調査と比較すると、「18 時台」が増加し、「16 時台」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
13 時より前	2	0.5	2	0.5
13 時台	0	0.0	1	0.2
14 時台	13	3.0	12	2.7
15 時台	48	11.1	38	8.7
16 時台	68	15.8	111	25.3
17 時台	131	30.4	128	29.2
18 時台	117	27.1	93	21.2
19 時台	48	11.1	48	10.9
20 時以降	4	0.9	6	1.4
合計	431	100.0	439	100.0

※無回答を除く

問 21－3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1. 大牟田市内」「2. 他の市町村」のいずれかに○をつけてください。

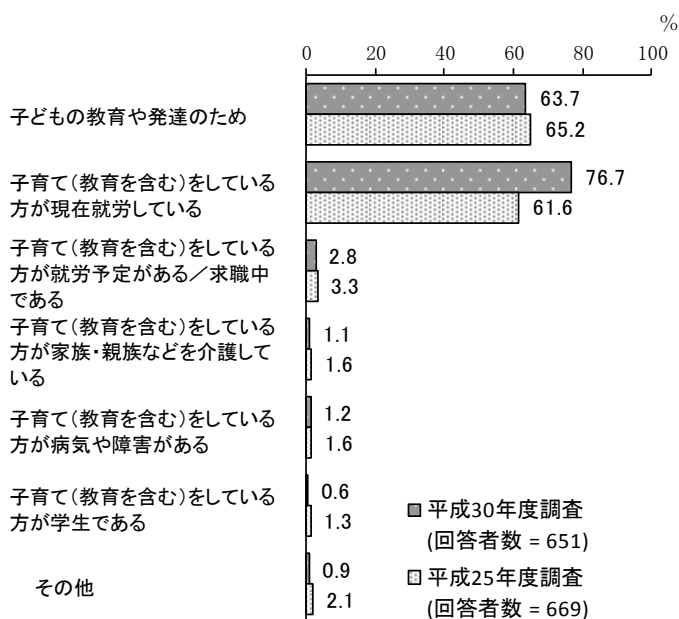
「大牟田市内」が96.3%、「他の市町村」が2.5%となっています。



問 21－4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

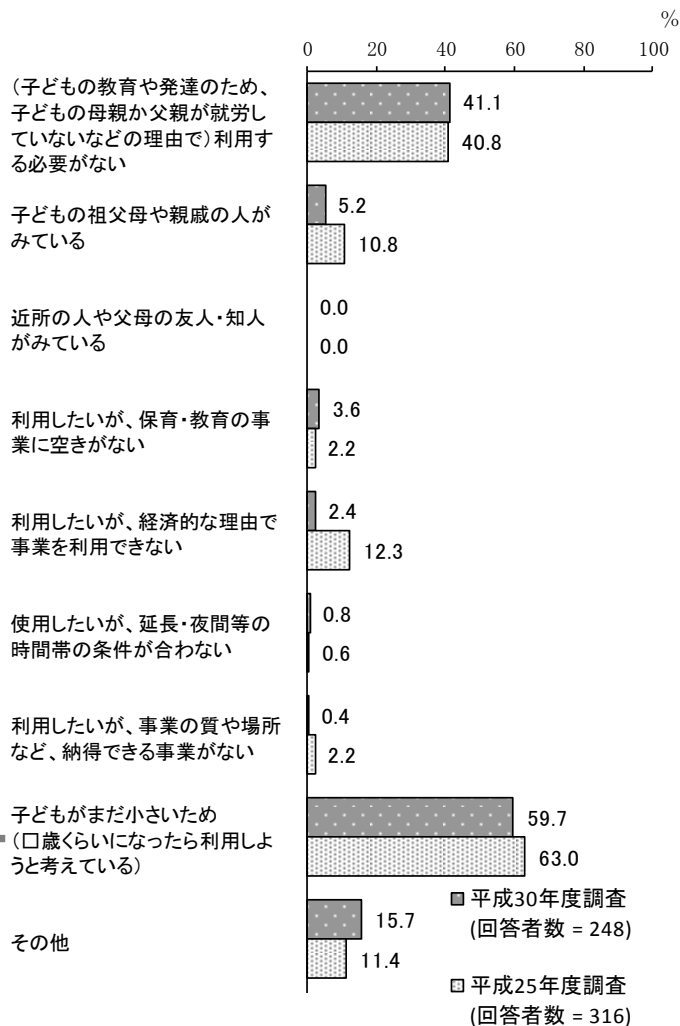
「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が76.7%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が63.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が増加しています。



問 21－5 問 21 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。
理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

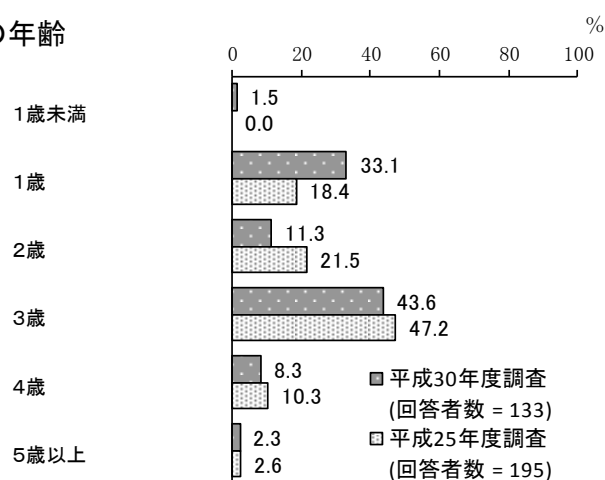
「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 59.7%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が 41.1%となっています。



子どもがまだ小さいため 利用を希望する子どもの年齢

「3歳」が 43.6%と最も高く、次いで「1歳」が 33.1%、「2歳」が 11.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「1歳」が増加し、「2歳」が減少しています。



問 22 政府は、消費税率引き上げの時期に合わせて、3歳から5歳までの子どもと、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて、保育料等を無償化する方向です。現在、利用している、利用していないにかかわらず、次の①、②のそれぞれについて、下の点線枠の中から、当てはまる番号すべてをご記入ください。

【①消費税率引き上げ後も保育料等有償である場合と②保育料等の無償化が実施された場合の比較】

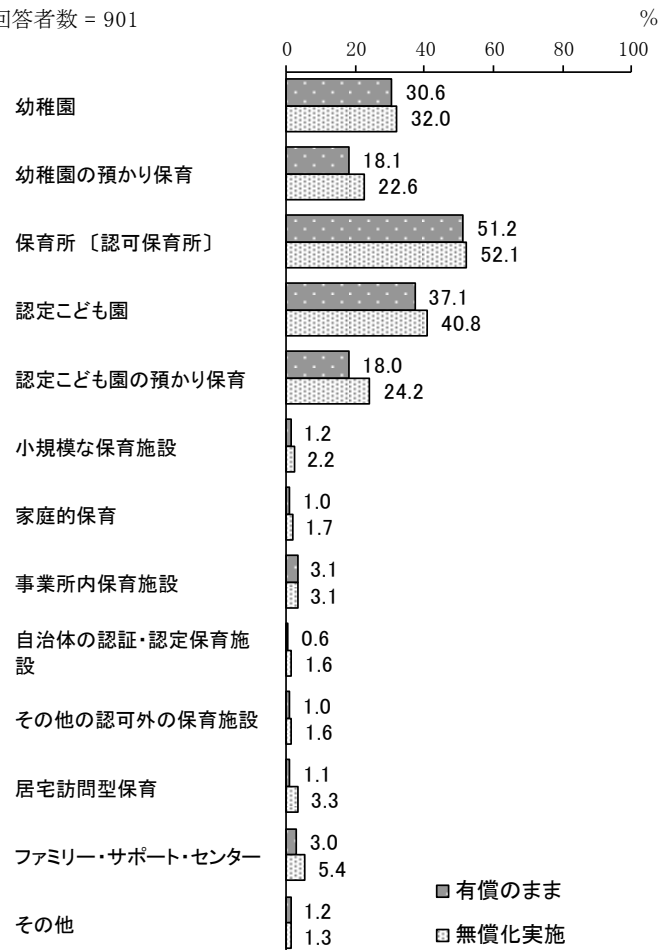
①消費税率引き上げ後も保育料等有償である場合

「保育所〔認可保育所〕」が51.2%と最も高く、次いで「認定こども園」が37.1%、「幼稚園」が30.6%となっています。

回答者数 = 901

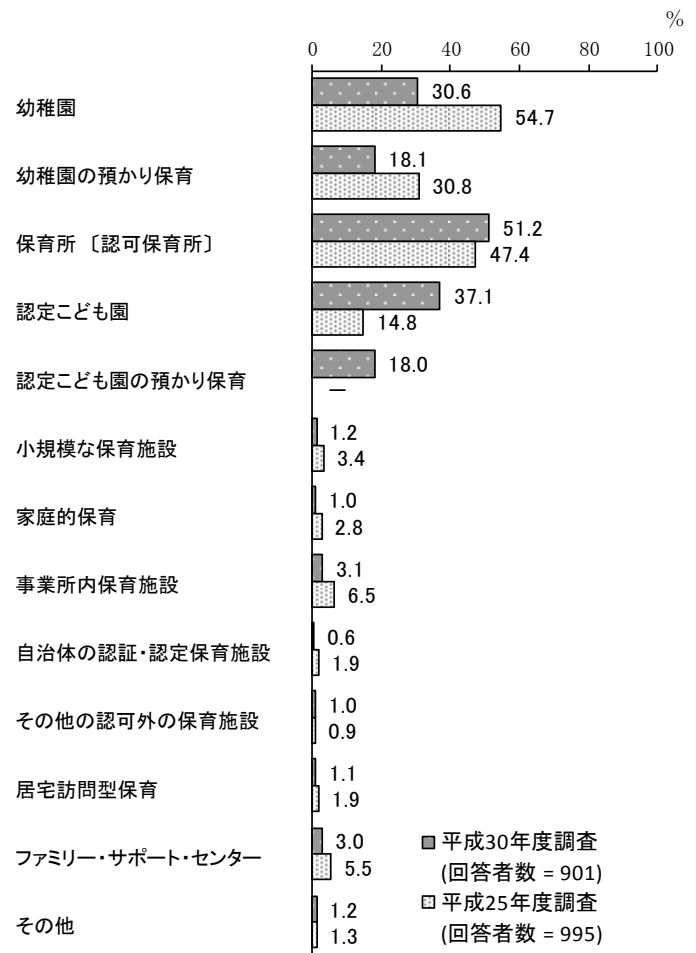
②保育料等の無償化が実施された場合

「保育所〔認可保育所〕」が52.1%と最も高く、次いで「認定こども園」が40.8%、「幼稚園」が32.0%となっています。



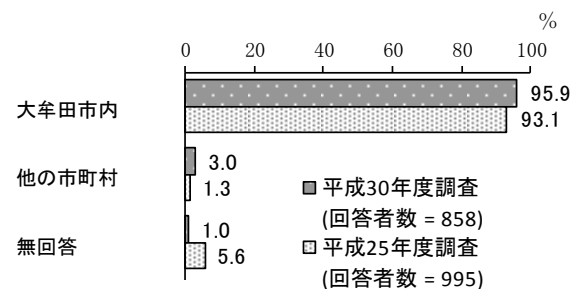
【①消費税率引き上げ後も保育料等が有償である場合と平成 25 年度との比較】

平成 25 年度調査と比較すると、「幼稚園」
「幼稚園の預かり保育」が減少し、「認定
こども園」が増加しています。



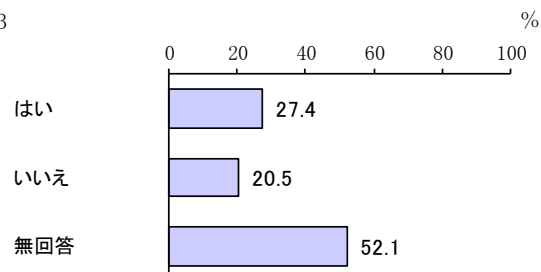
問 22－ 1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。
「1. 大牟田市内」「2. 他の市町村」のいずれかに○をつけてください。

「大牟田市内」が95.9%、「他の市町村」
が3.0%となっています。



問 22－2 問 22 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」を記入し、かつ「3. 保育所〔認可保育所〕」～「13. その他」を1つでも記入した方にうかがいます。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」が 27.4%、「いいえ」が 20.5% 回答者数 = 73
となっています。



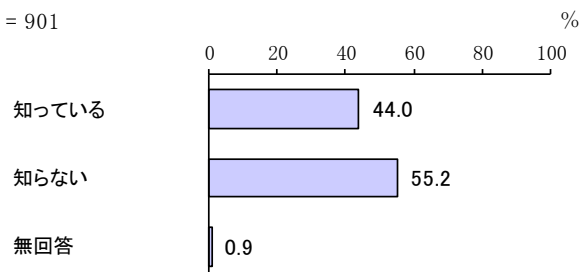
※平成 25 年度調査なし

6 地域の子育て支援事業の利用状況

問 23 平成 30 年 4 月に開設した、大牟田市子育て世代包括支援センター 愛称
「はぐはぐ^{おおむた}@mufa」について知っていますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「知っている」が 44.0%、「知らない」
が 55.2%となっています。

回答者数 = 901

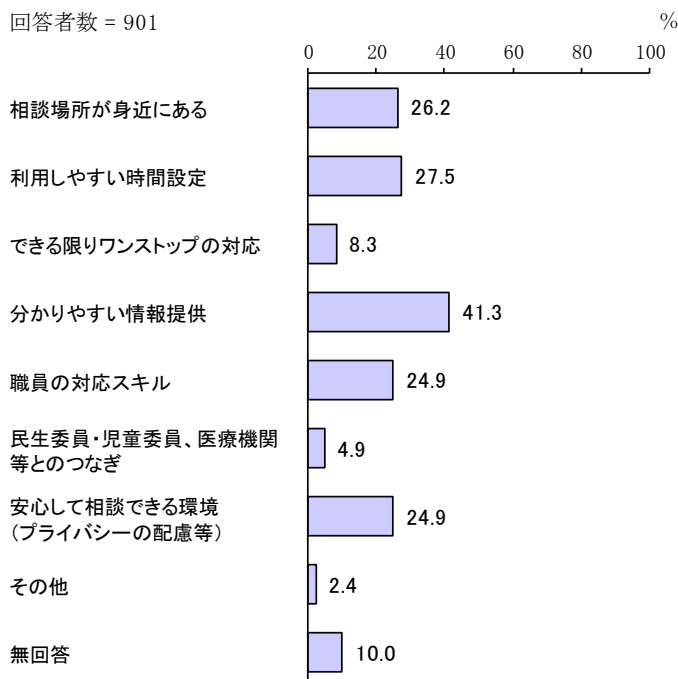


※平成 25 年度調査なし

問 24 市の相談窓口において、子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。
当てはまる番号 2 つまでに○をつけてください。

「分かりやすい情報提供」が 41.3%と
最も高く、次いで「利用しやすい時間設定」
が 27.5%、「相談場所が身近にある」が
26.2%となっています。

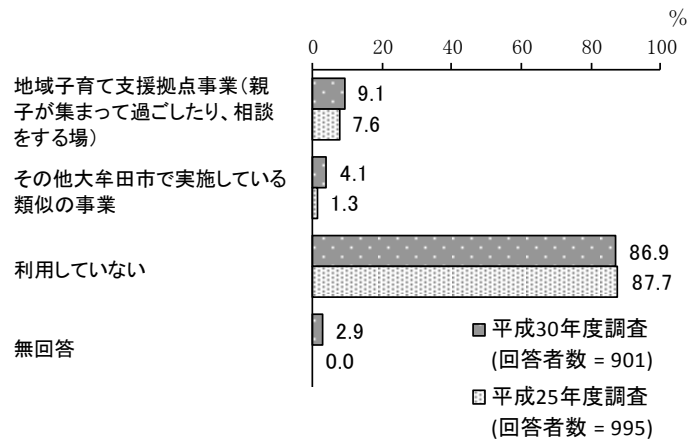
回答者数 = 901



※平成 25 年度調査なし

問 25 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」があたります）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

「利用していない」が 86.9%と最も高くなっています。



1. 地域子育て支援拠点事業の利用頻度

ア. 週あたりでの利用回数

「1回」が 56.7%と最も高く、次いで「2回」が 16.7%、「3回」が 13.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「4回」が増加し、「1回」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 回	17	56.7	12	70.6
2 回	5	16.7	2	11.8
3 回	4	13.3	3	17.6
4 回	3	10.0	0	0.0
5 回以上	1	3.3	0	0.0
合計	30	100.0	17	100.0

※無回答を除く

イ. 1 か月あたりでの利用回数

「1回」が 52.5%と最も高く、次いで「2回」が 20.3%、「3回」が 13.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「1回」「5回～10回」が増加し、「2回」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 回	31	52.5	27	42.2
2 回	12	20.3	25	39.1
3 回	8	13.6	6	9.4
4 回	4	6.8	4	6.2
5 回～10 回	4	6.8	1	1.6
11 回以上	0	0.0	1	1.6
合計	59	100.0	64	100.0

※無回答を除く

2. その他大牟田市で実施している類似の事業の利用頻度

ア. 週あたりでの利用回数

「1回」が5件、「2回」が3件、「3回」が1件となっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1回	5	55.6	2	50.0
2回	3	33.3	0	0.0
3回	1	11.1	1	25.0
4回	0	0.0	1	25.0
5回以上	0	0.0	0	0.0
合計	9	100.0	4	100.0

※無回答を除く

イ. 1か月あたりでの利用回数

「1回」が55.2%と最も高く、次いで「2回」が24.1%となっています。

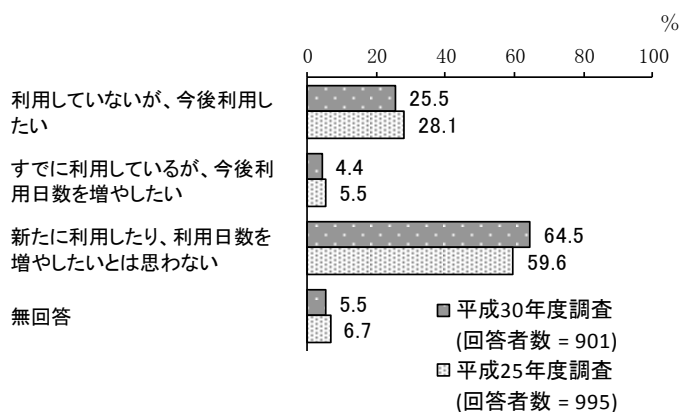
平成25年度調査と比較すると、「1回」「4回」が増加し、「2回」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1回	16	55.2	4	44.4
2回	7	24.1	3	33.3
3回	2	6.9	1	11.1
4回	2	6.9	0	0.0
5回～10回	2	6.9	1	11.1
合計	29	100.0	9	100.0

※無回答を除く

問26 問25のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。
当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

「新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない」が64.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が25.5%となっています。



1. 利用していないが、今後利用したい人の利用意向

ア. 週あたりでの利用回数

「1回」が80.0%と最も高く、次いで「2回」が18.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「2回」が増加しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1回	52	80.0	89	79.5
2回	12	18.5	15	13.4
3回	1	1.5	6	5.4
4回	0	0.0	1	0.9
5回以上	0	0.0	1	0.9
合計	65	100.0	112	100.0

※無回答を除く

イ. 1か月あたりでの利用回数

「1回」が56.6%と最も高く、次いで「2回」が27.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1回」が増加し、「2回」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1回	98	56.6	105	45.9
2回	48	27.7	80	34.9
3回	10	5.8	21	9.2
4回	9	5.2	15	6.6
5回～10回	8	4.6	6	2.6
11回以上	0	0.0	2	0.8
合計	173	100.0	229	100.0

※無回答を除く

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

ア. 週あたりでの増やしたい回数

「1回」が75.0%と最も高く、次いで「2回」が18.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1回」が増加し、「2回」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1回	12	75.0	16	64.0
2回	3	18.8	6	24.0
3回	1	6.3	2	8.0
4回	0	0.0	0	0.0
5回以上	0	0.0	1	4.0
合計	16	100.0	25	100.0

※無回答を除く

イ. 1か月あたりでの増やしたい回数

「2回」が28.1%と最も高く、次いで「1回」が25.0%、「3回」が18.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1回」が増加し、「2回」「4回」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1回	8	25.0	4	11.1
2回	9	28.1	14	38.9
3回	6	18.8	6	16.7
4回	4	12.5	8	22.2
5回～10回	5	15.6	4	11.2
合計	32	100.0	36	100.0

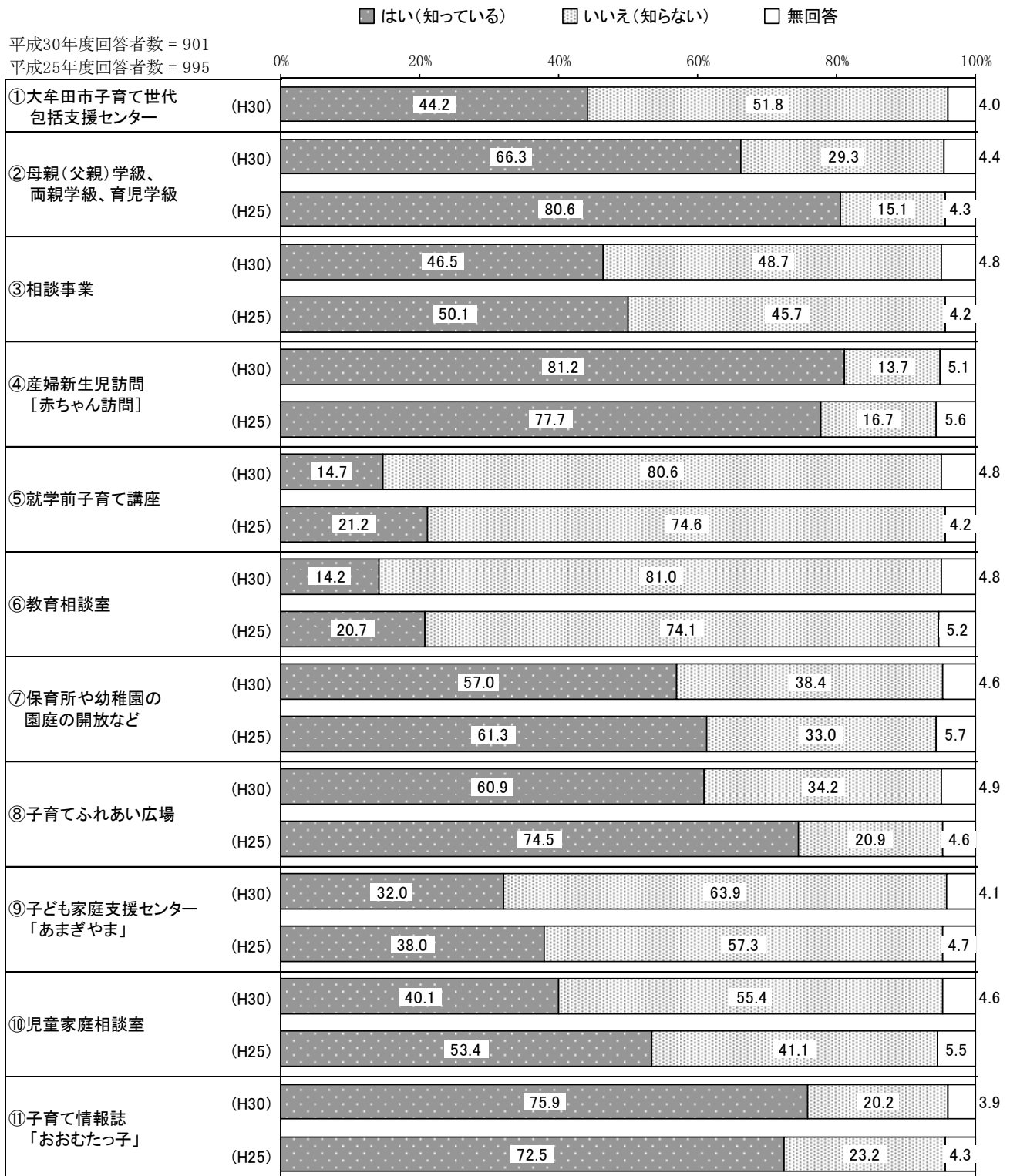
※無回答を除く

問 27 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

A 知っている（認知度）

『④産婦新生児訪問〔赤ちゃん訪問〕』で「はい」が高くなっています。また、『⑤就学前子育て講座』『⑥教育相談室』で「いいえ」が高くなっています。

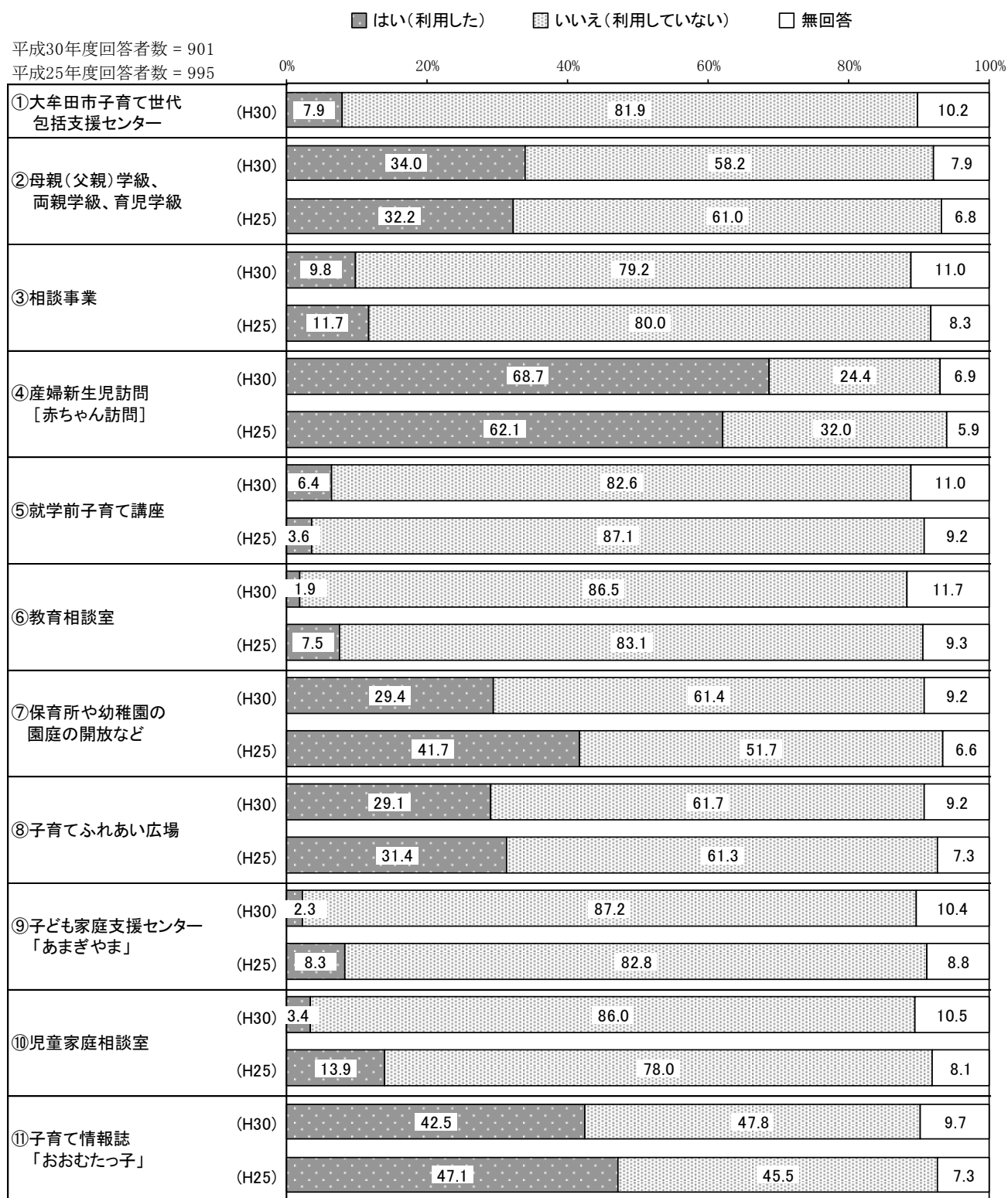
平成 25 年度調査と比較すると、『②母親（父親）学級、両親学級、育児学級』『⑤就学前子育て講座』『⑥教育相談室』『⑧子育てふれあい広場』『⑨子ども家庭支援センター「あまぎやま」』『⑩児童家庭相談室』で「はい」が減少しています。



B これまでに利用したことがある（利用経験）

『④産婦新生児訪問〔赤ちゃん訪問〕』で「はい」が高くなっています。また、『①大牟田市子育て世代包括支援センター』『⑤就学前子育て講座』『⑥教育相談室』『⑨子ども家庭支援センター「あまぎやま」』『⑩児童家庭相談室』で「いいえ」が高くなっています。

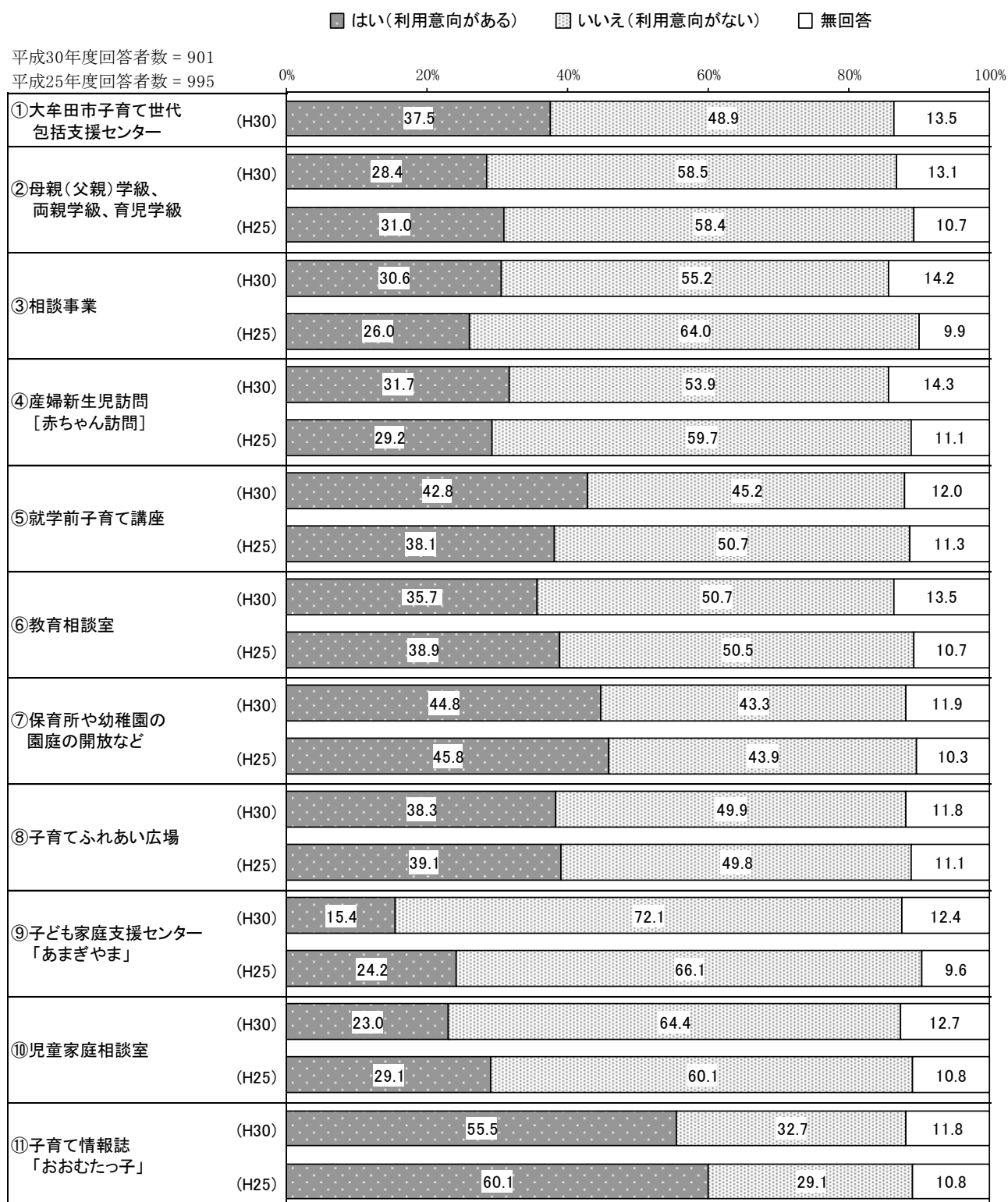
平成 25 年度調査と比較すると、『④産婦新生児訪問〔赤ちゃん訪問〕』で「はい」が増加しています。また、『⑥教育相談室』『⑦保育所や幼稚園の園庭の開放など』『⑨子ども家庭支援センター「あまぎやま」』『⑩児童家庭相談室』で「はい」が減少しています。



C 今後利用したい（利用意向）

『⑪子育て情報誌「おおむたっ子」』で「はい」が高くなっています。また、『⑨子ども家庭支援センター「あまぎやま」』で「いいえ」が高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、『⑨子ども家庭支援センター「あまぎやま」』『⑩児童家庭相談室』で「はい」が減少しています。



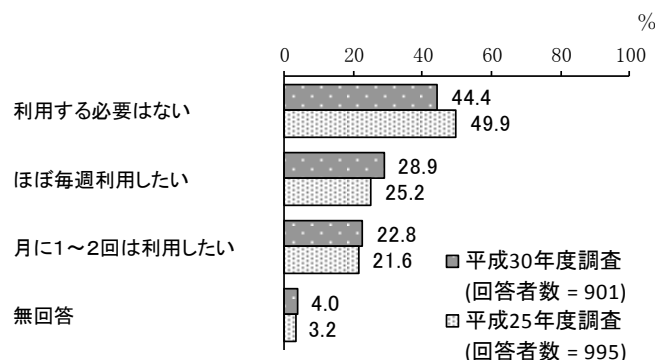
7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（１）土曜日

「利用する必要はない」が 44.4%と最も高く、次いで「ほぼ毎週利用したい」が 28.9%、「月に１～２回は利用したい」が 22.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」が減少しています。



【土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望開始時間と終了時間（希望）】

ア．利用開始時間

土曜日では、「８時台」が 48.0%と最も高く、次いで「９時台」が 40.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「８時台」が増加しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
7 時より前	0	0.0	3	0.6
7 時台	35	7.7	27	6.0
8 時台	219	48.0	194	42.9
9 時台	183	40.1	197	43.6
10 時台	15	3.3	25	5.5
11 時以降	4	0.9	6	1.2
合計	456	100.0	452	100.0

※無回答を除く

イ．利用終了時間

土曜日では、「17 時台」が 36.3%と最も高く、次いで「18 時台」が 28.0%、「16 時台」が 19.5%となっています。

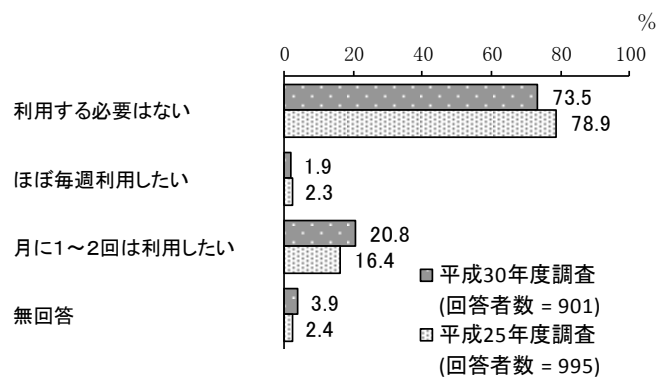
カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
13 時より前	6	1.3	8	1.8
13 時台	10	2.2	19	4.2
14 時台	11	2.4	17	3.8
15 時台	27	5.9	49	10.8
16 時台	89	19.5	73	16.2
17 時台	166	36.3	153	33.8
18 時台	128	28.0	112	24.8
19 時台	18	3.9	19	4.2
20 時以降	2	0.4	2	0.4
合計	457	100.0	452	100.0

※無回答を除く

(2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」が 73.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 20.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」が減少しています。



【日曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望開始時間と終了時間（希望）】

ア. 利用開始時間

「8 時台」が 43.2%と最も高く、次いで「9 時台」が 36.2%、「7 時台」が 13.1%となっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
7 時より前	0	0.0	1	0.6
7 時台	26	13.1	18	9.9
8 時台	86	43.2	75	41.4
9 時台	72	36.2	67	37.0
10 時台	12	6.0	16	8.8
11 時以降	3	1.5	4	2.3
合計	199	100.0	181	100.0

※無回答を除く

イ. 利用終了時間

日曜・祝日では、「18 時台」が 38.0%と最も高く、次いで「17 時台」が 32.0%、「16 時台」が 13.0%となっています。

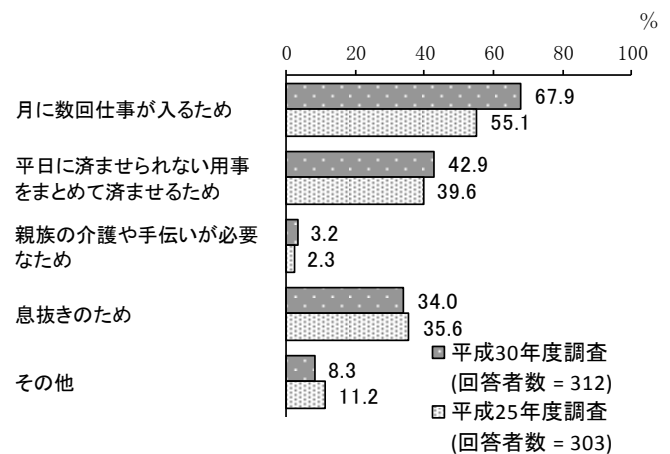
カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
13 時より前	1	0.5	4	2.2
13 時台	2	1.0	3	1.7
14 時台	2	1.0	3	1.7
15 時台	13	6.5	16	8.8
16 時台	26	13.0	16	8.8
17 時台	64	32.0	60	33.1
18 時台	76	38.0	62	34.3
19 時台	12	6.0	16	8.8
20 時以降	4	2.0	1	0.6
合計	200	100.0	181	100.0

※無回答を除く

問 28－1 問 28 の（１）もしくは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、月に１～２回利用したい理由は何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

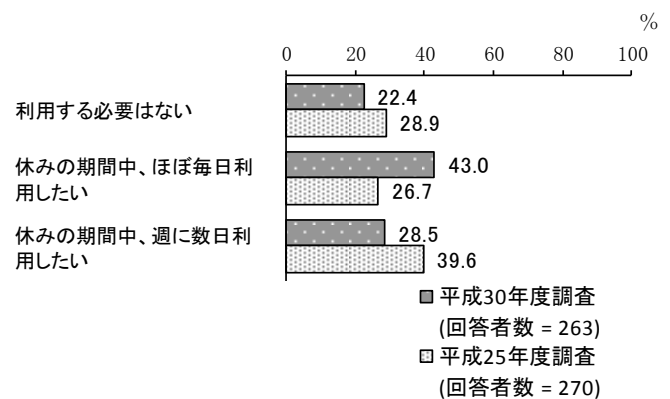
「月に数回仕事が入るため」が 67.9%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 42.9%、「息抜きのため」が 34.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「月に数回仕事が入るため」が増加しています。



問 29 「幼稚園」「認定こども園」を利用されている方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 43.0%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が 28.5%、「利用する必要はない」が 22.4%となっています。



【長期休暇期間中の教育・保育事業の利用開始時間と終了時間（希望）】

ア. 利用開始時間

「8 時台」が 46.7%と最も高く、次いで「9 時台」が 41.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「8 時台」が増加し、「9 時台」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
7 時より前	0	0.0	1	0.6
7 時台	11	6.0	2	1.1
8 時台	86	46.7	61	34.9
9 時台	76	41.3	98	56.0
10 時台	11	6.0	13	7.4
11 時以降	0	0.0	0	0.0
合計	184	100.0	175	100.0

※無回答を除く

イ. 利用終了時間

「18 時台」が 31.4%と最も高く、次いで「16 時台」が 21.6%、「17 時台」が 18.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「18 時台」が増加し、「17 時台」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
13 時より前	2	1.1	1	0.6
13 時台	0	0.0	3	1.7
14 時台	11	5.9	11	6.3
15 時台	33	17.8	35	20.0
16 時台	40	21.6	41	23.4
17 時台	35	18.9	48	27.4
18 時台	58	31.4	32	18.3
19 時台	6	3.2	4	2.3
合計	185	100.0	175	100.0

※無回答を除く

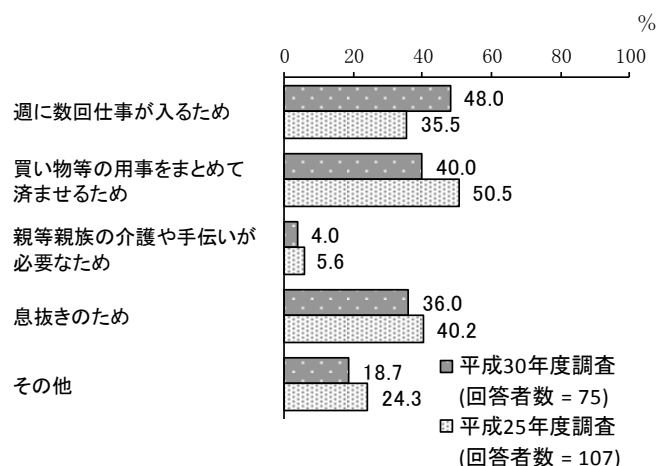
問 29－1 問 29 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、週に数日利用したい理由はなんですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「週に数回仕事が入るため」が 48.0%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 40.0%、「息抜きのため」が 36.0%となっています。

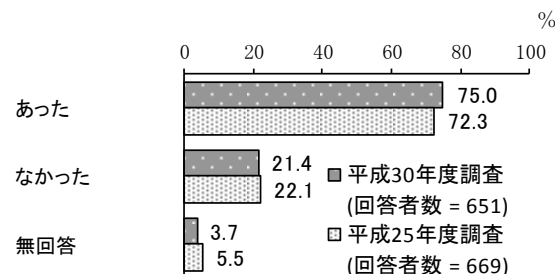
平成 25 年度調査と比較すると、「週に数回仕事が入るため」が増加し、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が減少しています。



8 子どもの病気の際の対応（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）

問 30 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。「1. あった」「2. なかった」のいずれかに○をつけてください。

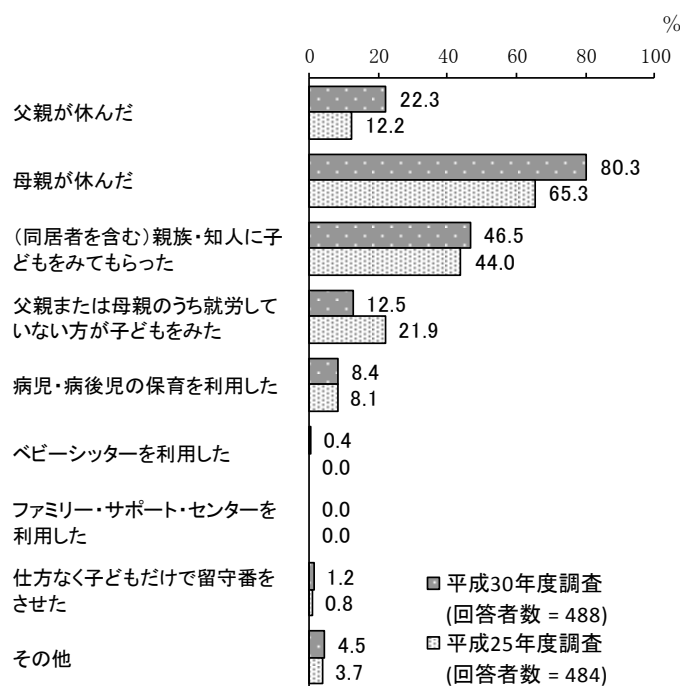
「あった」が 75.0%、「なかった」が 21.4%となっています。



問 30-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

「母親が休んだ」が80.3%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が46.5%、「父親が休んだ」が22.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」が増加し、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が減少しています。



年間日数

『父親が休んだ』『病児・病後児の保育を利用した』では「1日」が最も多くなっているのに対し、『母親が休んだ』『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった』『父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた』では「6日～10日」が最も多くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～20日	21日以上
1. 父親が休んだ	103	29.1	20.4	13.6	3.9	12.6	18.4	1.9	0.0
2. 母親が休んだ	366	6.6	13.4	8.7	3.0	16.9	32.8	12.3	6.3
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	212	7.1	17.0	15.1	6.6	20.3	25.5	5.7	2.8
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	59	5.1	13.6	11.9	5.1	16.9	32.2	10.2	5.1
5. 病児・病後児の保育を利用した	37	24.3	16.2	16.2	2.7	16.2	18.9	5.4	0.0
6. ベビーシッターを利用した	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. その他	19	0.0	5.3	10.5	10.5	10.5	36.8	26.3	0.0

※無回答を除く

1. 父親が休んだ

「1日」が29.1%と最も高く、次いで「2日」が20.4%、「6日～10日」が18.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「2日」「6日～10日」が増加し、「11日～20日」「21日以上」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	30	29.1	22	37.3
2日	21	20.4	10	16.9
3日	14	13.6	9	15.3
4日	4	3.9	2	3.4
5日	13	12.6	7	11.9
6日～10日	19	18.4	6	10.2
11日～20日	2	1.9	3	5.1
21日以上	0	0.0	0	0.0
合計	103	100.0	59	100

※無回答を除く

2. 母親が休んだ

「6日～10日」が32.8%と最も高く、次いで「5日」が16.9%、「2日」が13.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「5日」「6日～10日」が増加しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	24	6.6	31	10.5
2日	49	13.4	44	14.9
3日	32	8.7	38	12.9
4日	11	3.0	20	6.8
5日	62	16.9	35	11.9
6日～10日	120	32.8	77	26.0
11日～20日	45	12.3	33	11.3
21日以上	23	6.3	17	5.7
合計	366	100.0	295	100.0

※無回答を除く

3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみ

てもらった

「6日～10日」が25.5%と最も高く、次いで「5日」が20.3%、「2日」が17.0%となっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	15	7.1	17	8.4
2日	36	17.0	29	14.4
3日	32	15.1	23	11.4
4日	14	6.6	9	4.5
5日	43	20.3	38	18.8
6日～10日	54	25.5	55	27.3
11日～20日	12	5.7	18	8.9
21日以上	6	2.8	13	6.5
合計	212	100.0	202	100.0

※無回答を除く

4. 父親または母親のうち就労していない方が

5. 病児・病後児の保育を利用した

「1日」が24.3%と最も高く、次いで「6日～10日」が18.9%、「2日」「3日」「5日」が16.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「3日」「5日」が増加し、「2日」「4日」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	9	24.3	8	21.1
2日	6	16.2	10	26.3
3日	6	16.2	3	7.9
4日	1	2.7	3	7.9
5日	6	16.2	3	7.9
6日～10日	7	18.9	7	18.4
11日～20日	2	5.4	3	7.9
21日以上	0	0.0	1	2.6
合計	37	100.0	38	100.0

※無回答を除く

7. ファミリー・サポート・センターを利用した

有効回答はありませんでした。

子どもをみた

「6日～10日」が32.2%と最も高く、次いで「5日」が16.9%、「2日」が13.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「6日～10日」が減少し、「2日」が増加しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	3	5.1	5	5.1
2日	8	13.6	7	7.1
3日	7	11.9	16	16.2
4日	3	5.1	3	3.0
5日	10	16.9	13	13.1
6日～10日	19	32.2	40	40.4
11日～20日	6	10.2	7	7.0
21日以上	3	5.1	8	8.0
合計	59	100.0	99	100.0

※無回答を除く

6. ベビーシッターを利用した

「5日」「6日～10日」が1件ずつとなっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	0	0.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	1	50.0	0	0.0
6日～10日	1	50.0	0	0.0
11日～20日	0	0.0	0	0.0
21日以上	0	0.0	0	0.0
合計	2	100.0	0	0.0

※無回答を除く

つとなっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	1	16.7	2	66.7
2 日	4	66.7	0	0.0
3 日	1	16.7	0	0.0
4 日	0	0.0	0	0.0
5 日	0	0.0	1	33.3
6 日～10 日	0	0.0	0	0.0
11 日～20 日	0	0.0	0	0.0
21 日以上	0	0.0	0	0.0
合計	6	100.0	3	100.0

※無回答を除く

8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「2 日」が 4 件、「1 日」「3 日」が 1 件ず

9. その他

「6 日～10 日」が 36.8%と最も高く、次いで「11 日～20 日」が 26.3%、「3 日」「4 日」「5 日」が 10.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「5 日」「6 日～10 日」「11 日～20 日」が増加し、「1 日」「2 日」「3 日」が減少しています。

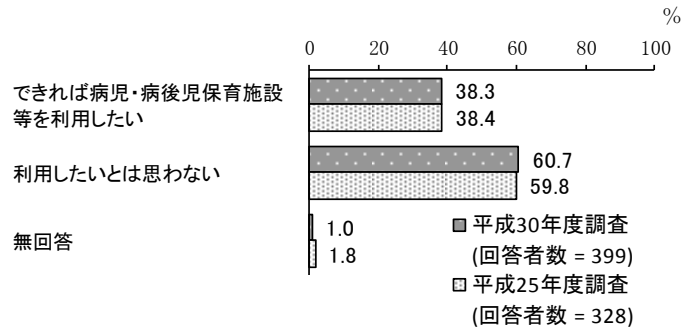
カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	0	0.0	2	13.3
2 日	1	5.3	3	20.0
3 日	2	10.5	6	40.0
4 日	2	10.5	1	6.7
5 日	2	10.5	0	0.0
6 日～10 日	7	36.8	3	20
11 日～20 日	5	26.3	0	0.0
21 日以上	0	0.0	0	0.0
合計	19	100.0	15	100.0

※無回答を除く

問 30－2 問 30－1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 38.3%、「利用したいとは思わない」が 60.7%となっています。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「5日」が 30.3%と最も高く、次いで「6日～10日」が 25.4%、「3日」が 19.7%となっています。

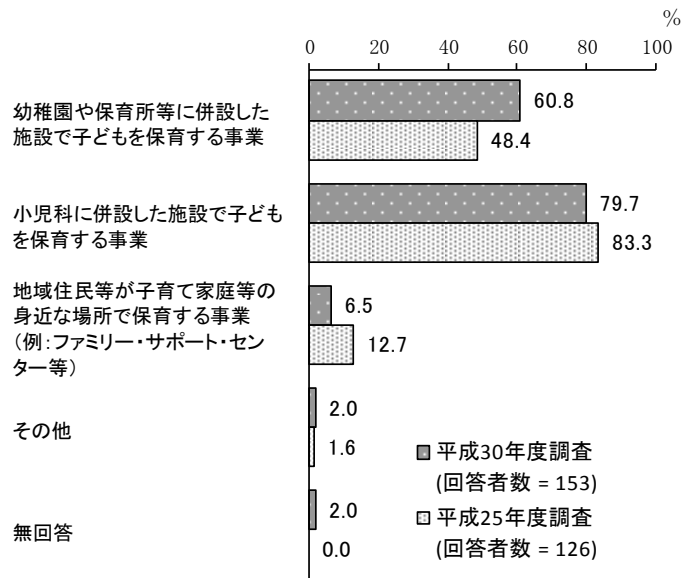
平成 25 年度調査と比較すると、「5日」が増加し、「21日以上」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	6	4.9	5	4.8
2 日	13	10.7	15	14.4
3 日	24	19.7	24	23.1
4 日	4	3.3	2	1.9
5 日	37	30.3	16	15.4
6 日～10 日	31	25.4	31	29.9
11 日～20 日	6	4.9	5	4.8
21 日以上	1	0.8	6	5.8
合計	122	100.0	104	100.0

問 30－3 問 30－2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 79.7%と最も高く、次いで「幼稚園や保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 60.8%となっています。

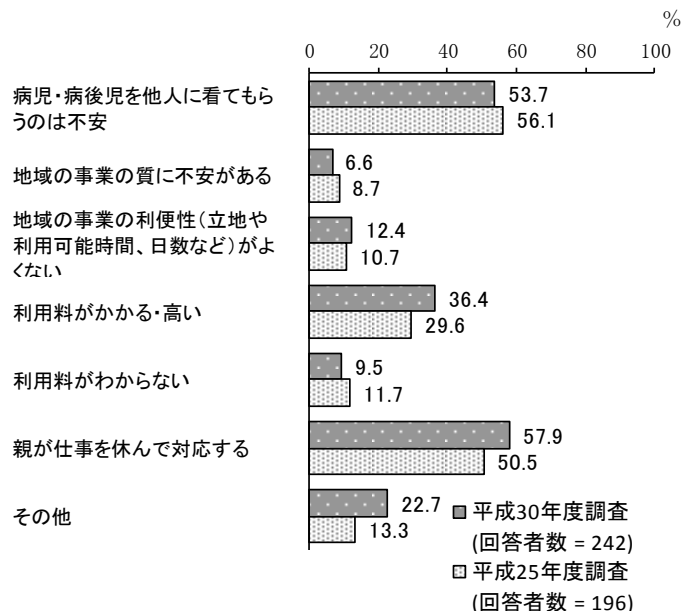
平成 25 年度調査と比較すると、「幼稚園や保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が増加しています。一方、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が減少しています。



問 30－4 問 30－2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」が 57.9%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらっては不安」が 53.7%、「利用料がかかる・高い」が 36.4%となっています。

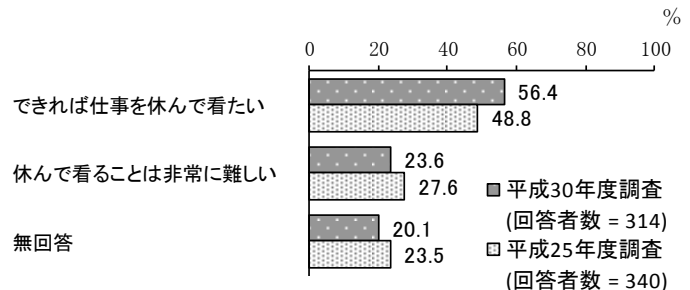
平成 25 年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」「親が仕事を休んで対応する」が増加しています。



問 30－5 問 30－1で「3.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「9. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 当てはまる番号1つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」が56.4%、「休んで看ることは非常に難しい」が23.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」が増加しています。



できれば仕事を休んで看たい日数

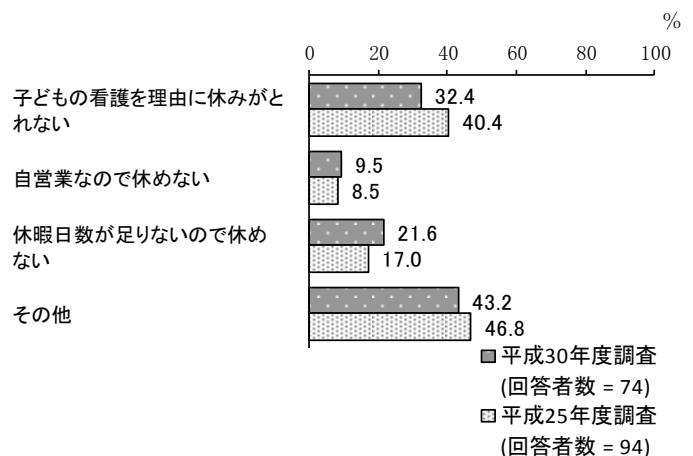
「6日～10日」が24.6%と最も高く、次いで「3日」が21.6%、「2日」が17.2%となっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	8	6.0	13	8.7
2日	23	17.2	21	14.0
3日	29	21.6	32	21.3
4日	10	7.5	4	2.7
5日	21	15.7	26	17.3
6日～10日	33	24.6	40	26.5
11日～20日	7	5.2	10	6.6
21日以上	3	2.2	4	2.8
合計	134	100.0	150	100.0

問 30－6 問 30－5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が32.4%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が21.6%となっています。

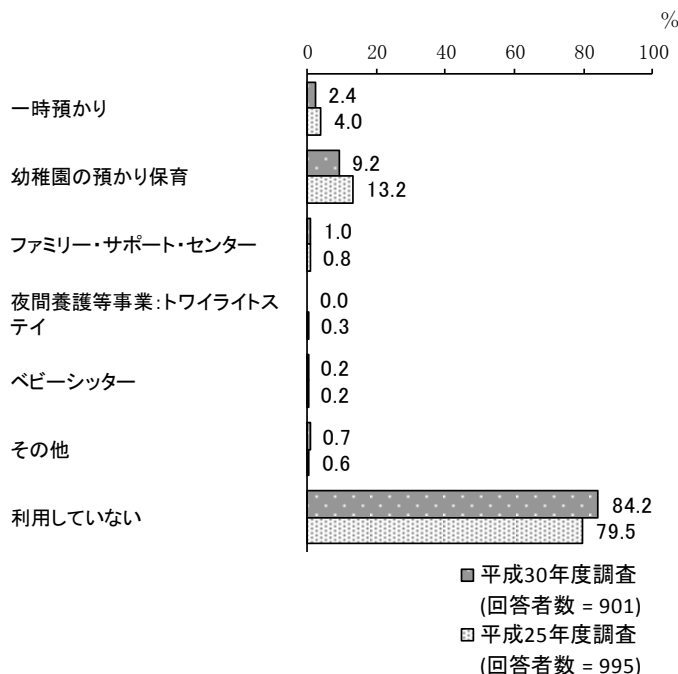
平成25年度調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が減少しています。



9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 31 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

「利用していない」が 84.2%と最も高くなっています。



(1) 利用日数（年間）

ア. 一時預かり

「2日」が 31.3%と最も高く、次いで「1日」が 25.0%、「6日～10日」が 18.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「1日」「2日」が増加し、「11日～20日」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	4	25.0	5	13.2
2 日	5	31.3	4	10.5
3 日	1	6.3	3	7.9
4 日	0	0.0	1	2.6
5 日	1	6.3	2	5.3
6 日～10 日	3	18.8	9	23.7
11 日～20 日	0	0.0	9	23.6
21 日以上	2	12.5	5	13.0
合計	16	100.0	38	100.0

※無回答を除く

イ. 幼稚園の預かり保育

「21 日以上」が 32.9%と最も高く、次いで「6日～10日」が 17.8%、「5日」が 12.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「2日」が増加し、「5日」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	4	5.5	1	0.8
2 日	8	11.0	6	4.8
3 日	3	4.1	11	8.9
4 日	4	5.5	2	1.6
5 日	9	12.3	24	19.4
6 日～10 日	13	17.8	17	13.7
11 日～20 日	8	11.0	20	16.1
21 日以上	24	32.9	43	34.6
合計	73	100.0	124	100.0

※無回答を除く

ウ. ファミリー・サポート・センター

「2日」が3件、「1日」「3日」「4日」「5日」「11日～20日」が1件ずつとなっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	1	12.5	1	16.7
2 日	3	37.5	2	33.3
3 日	1	12.5	1	16.7
4 日	1	12.5	0	0
5 日	1	12.5	1	16.7
6 日～10 日	0	0.0	0	0.0
11 日～20 日	1	12.5	1	16.7
21 日以上	0	0.0	0	0.0
合計	8	100.0	6	100.0

※無回答を除く

エ. 夜間養護等事業：トワイライトステイ

有効回答はありませんでした。

オ. ベビーシッター

「1日」「2日」が1件ずつとなっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	1	50.0	0	0
2 日	1	50.0	0	0
3 日	0	0.0	0	0
4 日	0	0.0	0	0
5 日	0	0.0	1	50
6 日～10 日	0	0.0	0	0.0
11 日～20 日	0	0.0	0	0.0
21 日以上	0	0.0	1	50.0
合計	2	100.0	2	100.0

※無回答を除く

カ. その他

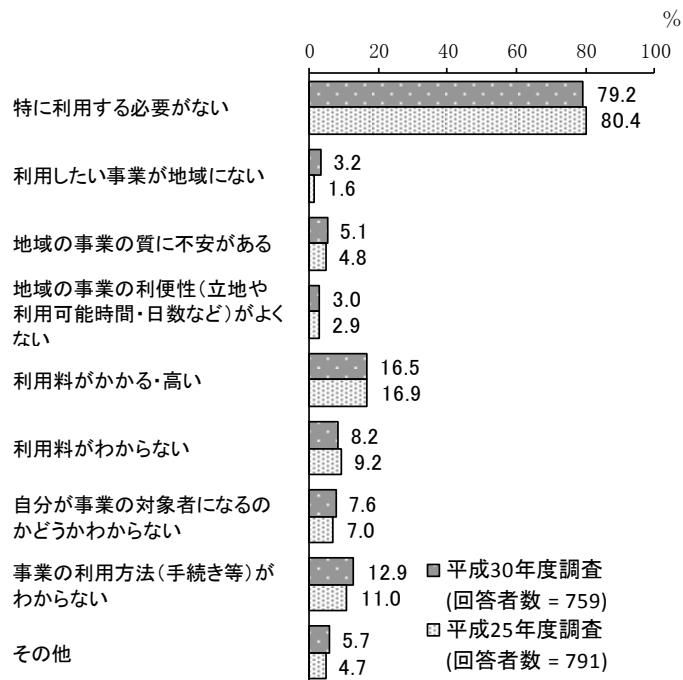
「2日」が2件、「21日以上」が1件となっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	0	0.0	2	50
2 日	2	66.7	0	0
3 日	0	0.0	0	0
4 日	0	0.0	0	0
5 日	0	0.0	0	0
6 日～10 日	0	0.0	1	25.0
11 日～20 日	0	0.0	1	25.0
21 日以上	1	33.3	0	0.0
合計	3	100.0	4	100.0

※無回答を除く

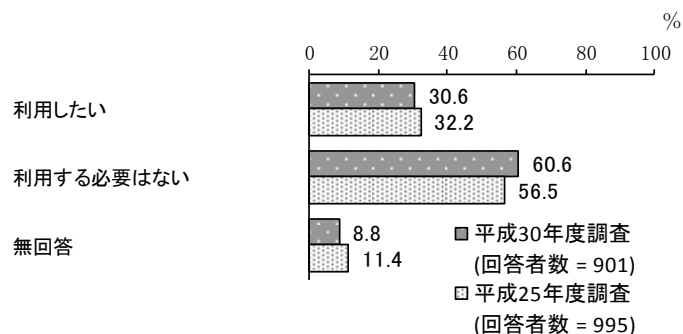
問 31－1 問 31 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が 79.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 16.5%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 12.9%となっています。



問 32 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数を数字でご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください）。
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

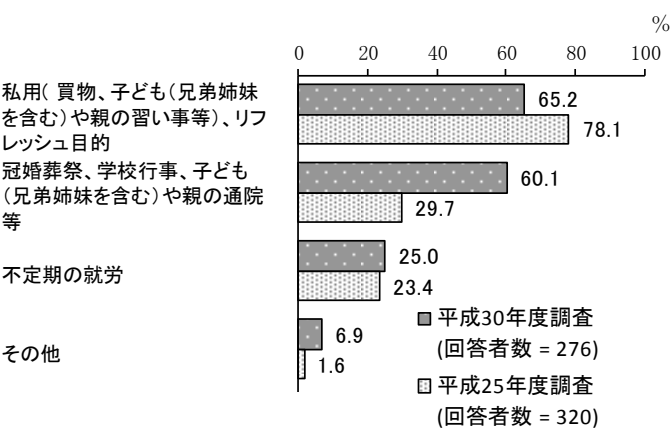
「利用したい」が 30.6%、「利用する必要はない」が 60.6%となっています。



利用の目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が65.2%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が60.1%、「不定期の就労」が25.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が増加しています。一方、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が減少しています。



合計日数

「6日～10日」、「21日以上」が26.7%と最も高く、次いで「11日～20日」が25.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「21日以上」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	4	2.1	6	2.1
2日	7	3.7	9	3.2
3日	13	6.8	10	3.6
4日	6	3.1	11	3.9
5日	11	5.8	26	9.3
6日～10日	51	26.7	70	24.9
11日～20日	48	25.1	57	20.4
21日以上	51	26.7	75	33.0
合計	191	100.0	264	100.0

※無回答を除く

年間日数

①私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）

「6日～10日」が26.0%と最も高く、次いで「11日～20日」が24.9%、「5日」が14.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「11日～20日」が増加し、「21日以上」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	7	4.1	9	4.3
2日	16	9.5	19	9.1
3日	12	7.1	13	6.2
4日	5	3.0	4	1.9
5日	24	14.2	30	14.4
6日～10日	44	26.0	51	24.5
11日～20日	42	24.9	39	18.8
21日以上	19	11.2	43	20.8
合計	169	100.0	208	100.0

※無回答を除く

②冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「6日～10日」が24.5%と最も高く、次いで「5日」が20.6%、「11日～20日」が18.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「11日～20日」が増加し、「6日～10日」「21日以上」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	10	6.5	5	3.2
2日	24	15.5	21	13.3
3日	15	9.7	18	11.4
4日	1	0.6	4	2.5
5日	32	20.6	32	20.3
6日～10日	38	24.5	48	30.4
11日～20日	29	18.7	15	9.6
21日以上	6	3.9	15	9.3
合計	155	100.0	158	100.0

※無回答を除く

③不特定の就労

「6日～10日」が33.3%と最も高く、次いで「21日以上」が21.7%、「11日～20日」が15.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「6日～10日」が増加し、「5日」「21日以上」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	3	5.0	5	5.9
2日	3	5.0	3	3.5
3日	4	6.7	8	9.4
4日	3	5.0	3	3.5
5日	5	8.3	12	14.1
6日～10日	20	33.3	17	20.0
11日～20日	9	15.0	11	13.0
21日以上	13	21.7	26	30.7
合計	60	100.0	85	100.0

※無回答を除く

④その他

「2日」「5日」「6日～10日」「21日以上」が18.8%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「2日」「3日」「5日」が増加し、「1日」「6日～10日」「11日～20日」「21日以上」が減少しています。

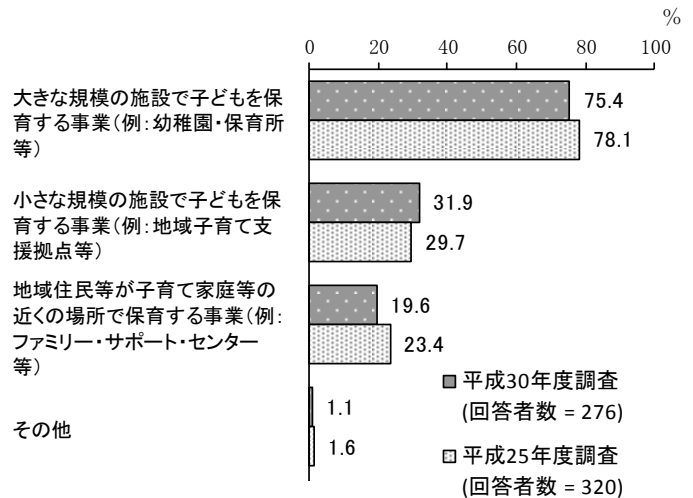
カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	1	6.3	1	12.5
2日	3	18.8	0	0.0
3日	2	12.5	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	3	18.8	0	0.0
6日～10日	3	18.8	3	37.5
11日～20日	1	6.3	1	12.5
21日以上	3	18.8	3	37.5
合計	16	100.0	8	100.0

※無回答を除く

問 32－1 問 32 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 32 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

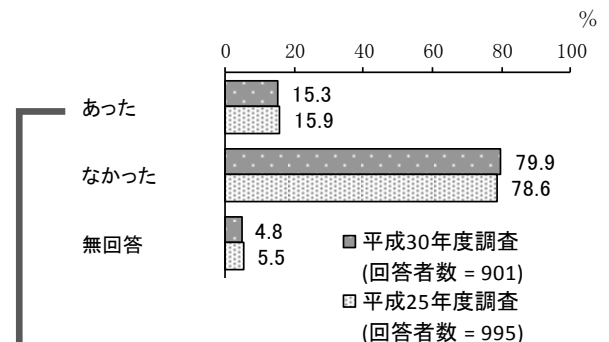
「大きな規模の施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が 75.4%と最も高く、次いで「小さな規模の施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」が 31.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 19.6%となっています。



問 33 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

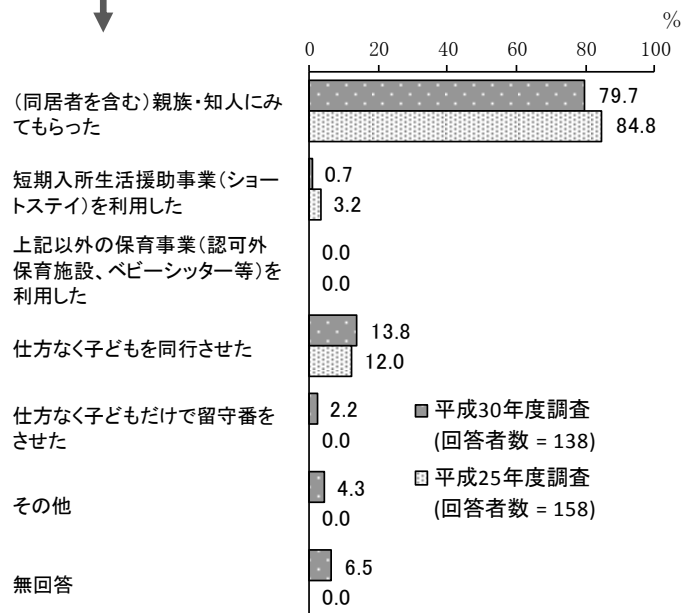
「あった」が 15.3%、「なかった」が 79.9%となっています。



あった場合の対処法

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 79.7%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 13.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が減少しています。



年間泊数

単位：％

区分	有効回答数 (件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊 ～ 10泊	11泊 ～ 20泊	21泊 以上
1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	106	35.8	15.1	8.5	4.7	10.4	15.1	4.7	5.7
2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 上記以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4. 仕方なく子どもを同行させた	15	60.0	20.0	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. その他	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※無回答を除く

1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった

「1泊」が35.8%と最も高く、次いで「2泊」「6泊～10泊」が15.1%となっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1泊	38	35.8	40	31.7
2泊	16	15.1	17	13.5
3泊	9	8.5	12	9.5
4泊	5	4.7	6	4.8
5泊	11	10.4	16	12.7
6泊～10泊	16	15.1	20	16.0
11泊～20泊	5	4.7	8	6.4
21泊以上	6	5.7	7	5.6
合計	106	100.0	126	100.0

※無回答を除く

2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した

有効回答はありませんでした。

3. 短期入所生活援助事業以外の保育事業

有効回答はありませんでした。

4. 仕方なく子どもを同行させた

「1泊」が60.0%と最も高く、次いで「2泊」が20.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1泊」「6泊～10泊」が増加し、「2泊」「3泊」「4泊」「5泊」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1泊	9	60.0	3	18.8
2泊	3	20.0	5	31.2
3泊	1	6.7	4	25.0
4泊	0	0.0	1	6.2
5泊	0	0.0	2	12.5
6泊～10泊	2	13.3	1	6.2
11泊～20泊	0	0.0	0	0.0
21泊以上	0	0.0	0	0.0
合計	15	100.0	16	100.0

※無回答を除く

5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1泊」「2泊」が1件ずつとなっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1泊	1	50.0	0	0.0
2泊	1	50.0	0	0.0
3泊	0	0.0	0	0.0
4泊	0	0.0	0	0.0
5泊	0	0.0	0	0.0
6泊～10泊	0	0.0	0	0.0
11泊～20泊	0	0.0	0	0.0
21泊以上	0	0.0	0	0.0
合計	2	100.0	0	—

※無回答を除く

6. その他

「1泊」「2泊」が2件ずつとなっています。

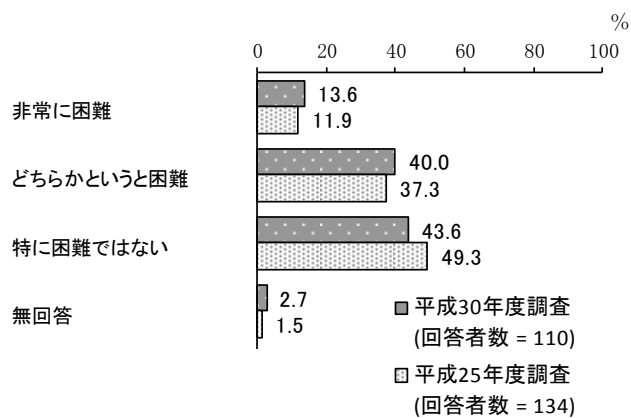
カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1泊	2	100.0	0	0.0
2泊	2	100.0	0	0.0
3泊	0	0.0	0	0.0
4泊	0	0.0	0	0.0
5泊	0	0.0	0	0.0
6泊～10泊	0	0.0	0	0.0
11泊～20泊	0	0.0	0	0.0
21泊以上	0	0.0	0	0.0
合計	0	0.0	0	—

※無回答を除く

問 33－1 問 33 で「1. あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。
 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「特に困難ではない」が 43.6%と最も高く、次いで「どちらかというと困難」が 40.0%、「非常に困難」が 13.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「特に困難ではない」が減少しています。



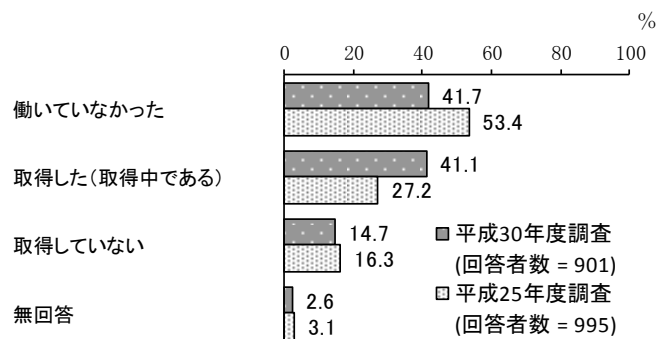
10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

問 34 宛名のお子さんが生まれた際の育児休業の取得状況についてうかがいます。
 父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア. 母親（いずれかに○）

「働いていなかった」が41.7%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が41.1%、「取得していない」が14.7%となっています。

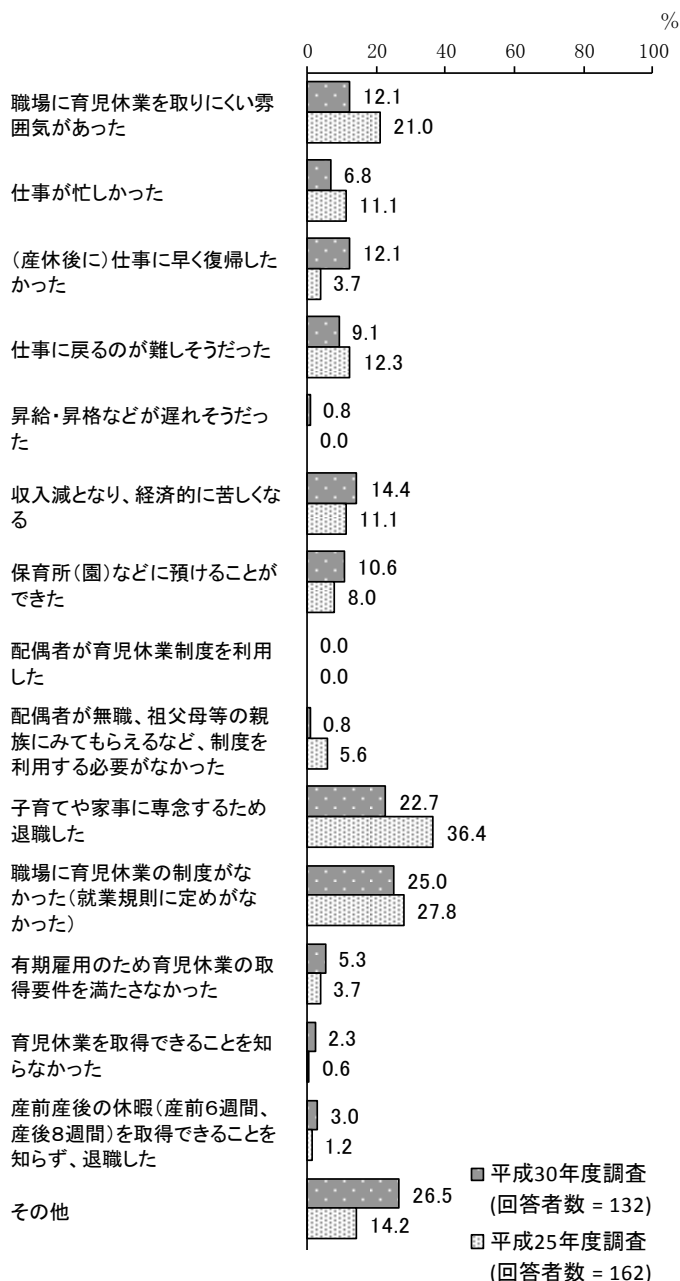
平成25年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」が増加しています。一方、「働いていなかった」が減少しています。



取得しなかった理由

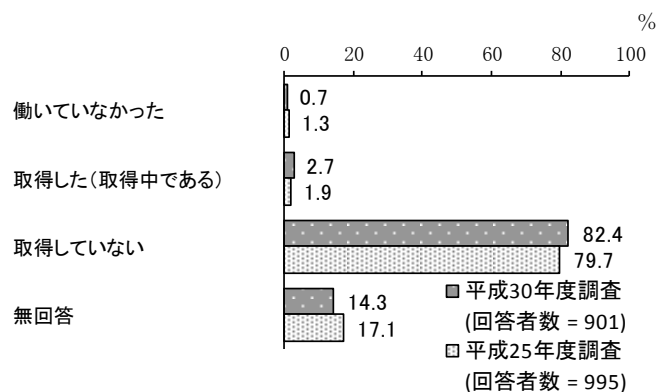
「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が25.0%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が22.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が14.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」が増加しています。一方、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「子育てや家事に専念するため退職した」が減少しています。



イ. 父親（いずれかに○）

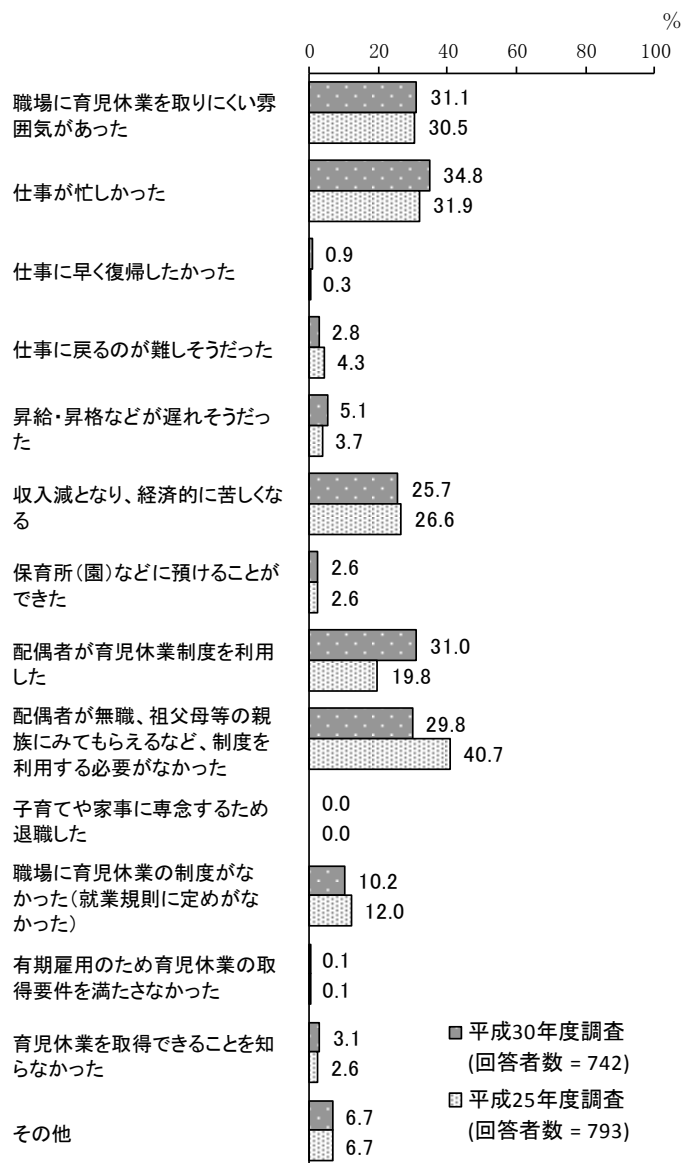
「取得していない」が 82.4%と最も高くなっています。



取得しなかった理由

「仕事が忙しかった」が 34.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 31.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 31.0%となっています。

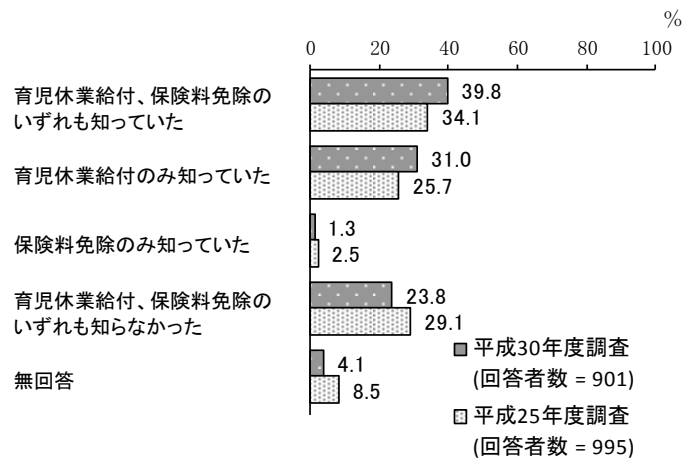
平成 25 年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が減少しています。



問 34－ 1 育児休業給付制度や健康保険及び厚生年金保険の保険料免除制度があることをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 39.8%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が 31.0%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 23.8%となっています。

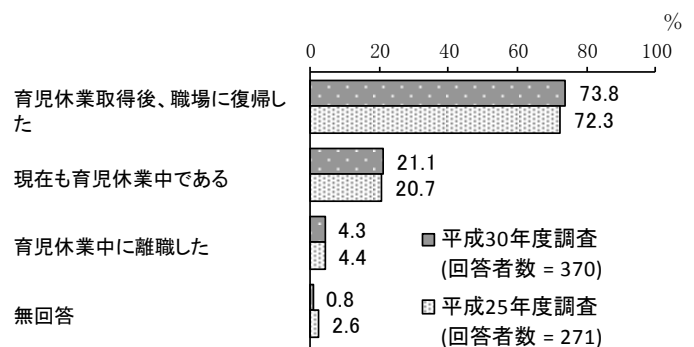
平成 25 年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」「育児休業給付のみ知っていた」が増加し、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が減少しています。



問 34－ 2 問 34 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（１）母親

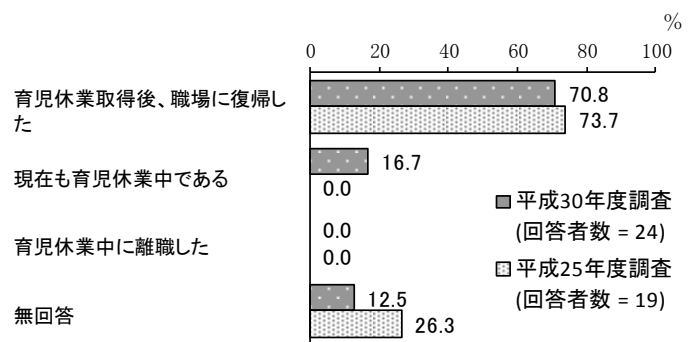
「育児休業取得後、職場に復帰した」が 73.8%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 21.1%となっています。



（２）父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 70.8%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 16.7%となっています。

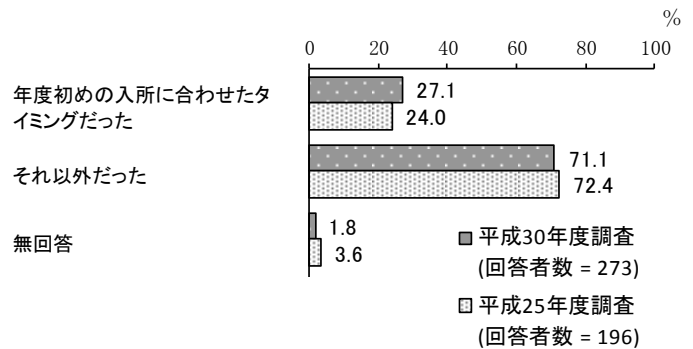
平成 25 年度調査と比較すると、「現在も育児休業中である」が増加しています。



問 34－3 問 34－2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

(1) 母親

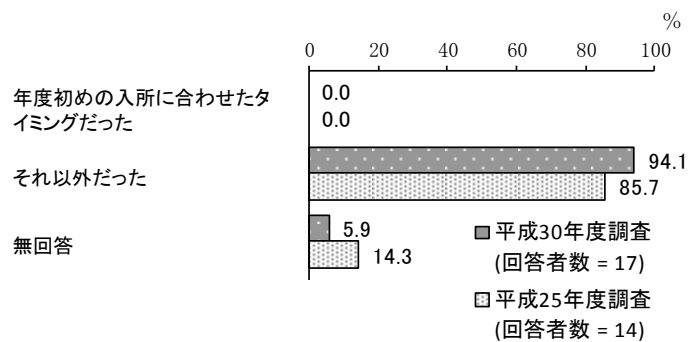
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 27.1%、「それ以外だった」が 71.1%となっています。



(2) 父親

「それ以外だった」が 94.1%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「それ以外だった」が増加しています。



問 34－4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

ア. 実際の取得期間

「10 か月～1年」が 53.6%と最も高く、次いで「1年1か月～1年6か月」が 13.5%、「7か月～9か月」が 11.2%となっています。平成 25 年度調査と比較すると、「10 か月～1年」が増加しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
3 か月以下	18	6.7	16	8.1
4 か月～6 か月	27	10.1	26	13.1
7 か月～9 か月	30	11.2	25	12.5
10 か月～1 年	143	53.6	90	45.5
1 年 1 か月～1 年 6 か月	36	13.5	29	14.6
1 年 7 か月～2 年	5	1.9	8	4.0
2 年 1 か月～2 年 6 か月	4	1.5	1	0.5
2 年 7 か月～3 年	3	1.1	3	1.5
3 年 1 か月以上	1	0.4	0	0.0
合計	267	100.0	198	100.0

※無回答を除く

イ. 希望の取得期間

「10 か月～1年」が 43.6%と最も高く、次いで「1年1か月～1年6か月」が 18.9%、「1年7か月～2年」が 18.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「1年7か月～2年」が増加しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
3 か月以下	4	1.6	3	1.8
4 か月～6 か月	5	2.1	9	5.0
7 か月～9 か月	4	1.6	3	1.7
10 か月～1 年	106	43.6	83	46.1
1 年 1 か月～1 年 6 か月	46	18.9	34	19.0
1 年 7 か月～2 年	44	18.1	21	11.7
2 年 1 か月～2 年 6 か月	0	0.0	1	0.6
2 年 7 か月～3 年	33	13.6	23	12.8
3 年 1 か月以上	1	0.4	3	1.8
合計	243	100.0	180	100.0

※無回答を除く

(2) 父親

ア. 実際の取得期間

「3 か月以下」が 7 件、「10 か月～1年」が 1 件となっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
3 か月以下	7	87.5	2	66.7
4 か月～6 か月	0	0.0	1	33.3
7 か月～9 か月	0	0.0	0	0.0
10 か月～1 年	1	12.5	0	0.0
1 年 1 か月～1 年 6 か月	0	0.0	0	0.0
1 年 7 か月～2 年	0	0.0	0	0.0
2 年 1 か月～2 年 6 か月	0	0.0	0	0.0
2 年 7 か月～3 年	0	0.0	0	0.0
3 年 1 か月以上	0	0.0	0	0.0
合計	8	100.0	3	100.0

※無回答を除く

イ. 希望の取得期間

「10 か月～1年」が 5 件、「3 か月以下」「4 か月～6 か月」が 2 件ずつとなっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
3 か月以下	2	22.2	3	50.0
4 か月～6 か月	2	22.2	1	16.7
7 か月～9 か月	0	0.0	0	0.0
10 か月～1 年	5	55.6	2	33.3
1 年 1 か月～1 年 6 か月	0	0.0	0	0.0
1 年 7 か月～2 年	0	0.0	0	0.0
2 年 1 か月～2 年 6 か月	0	0.0	0	0.0
2 年 7 か月～3 年	0	0.0	0	0.0
3 年 1 か月以上	0	0.0	0	0.0
合計	9	100	6	100

※無回答を除く

問 34－5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
□内で数字でご記入ください。

(1) 母親

「2年7か月～3年」が36.4%と最も高く、次いで「1年7か月～2年」が24.7%、「10か月～1年」が19.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1年7か月～2年」が増加し、「10か月～1年」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
3か月以下	1	0.4	2	1.0
4か月～6か月	3	1.2	3	1.5
7か月～9か月	1	0.4	3	1.5
10か月～1年	49	19.8	50	25.8
1年1か月～1年6か月	37	15.0	24	12.3
1年7か月～2年	61	24.7	32	16.5
2年1か月～2年6か月	3	1.2	3	1.5
2年7か月～3年	90	36.4	73	37.6
3年1か月以上	2	0.8	4	2.0
合計	247	100.0	194	100.0

※無回答を除く

(2) 父親

「10か月～1年」が50.0%と最も高く、次いで「2年7か月～3年」が33.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「10か月～1年」「2年7か月～3年」が増加し、「1年1か月～1年6か月」「1年7か月～2年」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
3か月以下	1	8.3	6	10.7
4か月～6か月	1	8.3	3	5.4
7か月～9か月	0	0.0	1	1.8
10か月～1年	6	50.0	18	32.1
1年1か月～1年6か月	0	0.0	3	5.4
1年7か月～2年	0	0.0	8	14.3
2年1か月～2年6か月	0	0.0	1	1.8
2年7か月～3年	4	33.3	14	25.0
3年1か月以上	0	0.0	2	3.6
合計	12	100.0	56	100.0

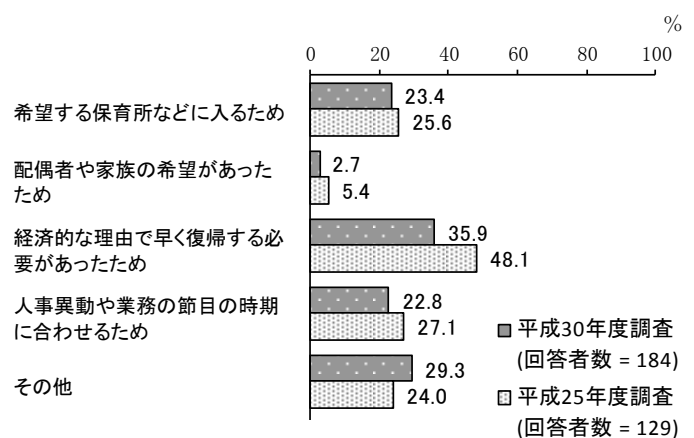
※無回答を除く

問 34－6 問 34－4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が35.9%と最も高く、次いで「希望する保育所などに入るため」が23.4%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が22.8%となっています。



②父親

「希望する保育所などに入るため」「配偶者や家族の希望があったため」「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が1件ずつとなっています。

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

「希望する保育所などに入れなかったため」が3件となっています。「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」が1件となっています。

②父親

有効回答がありませんでした。

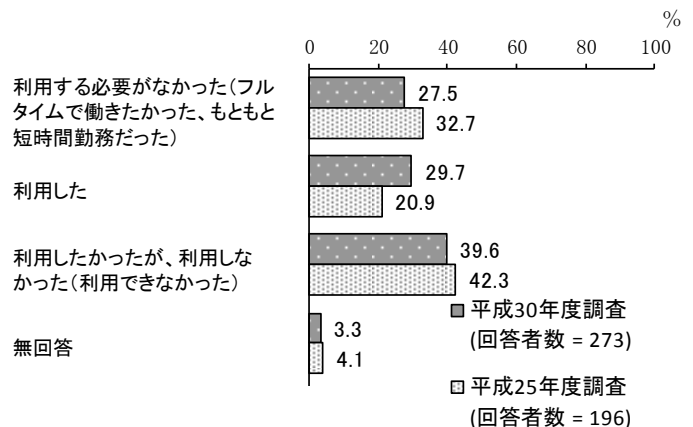
問34-7 問34-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が39.6%と最も高く、次いで「利用した」が29.7%、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が27.5%となっています。

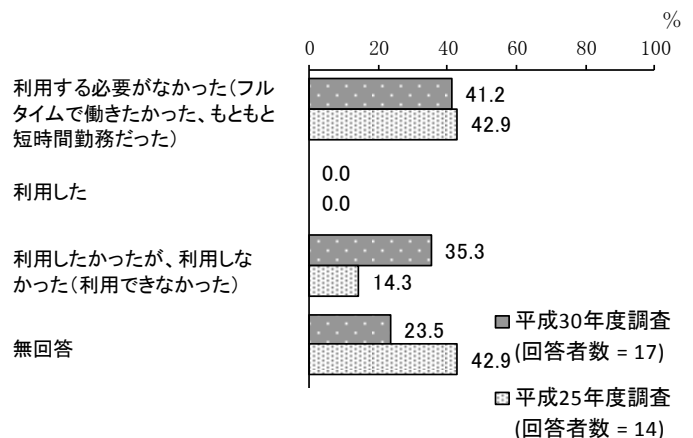
平成25年度調査と比較すると、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が減少し、「利用した」が増加しています。



(2) 父親

「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が41.2%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が35.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が増加しています。

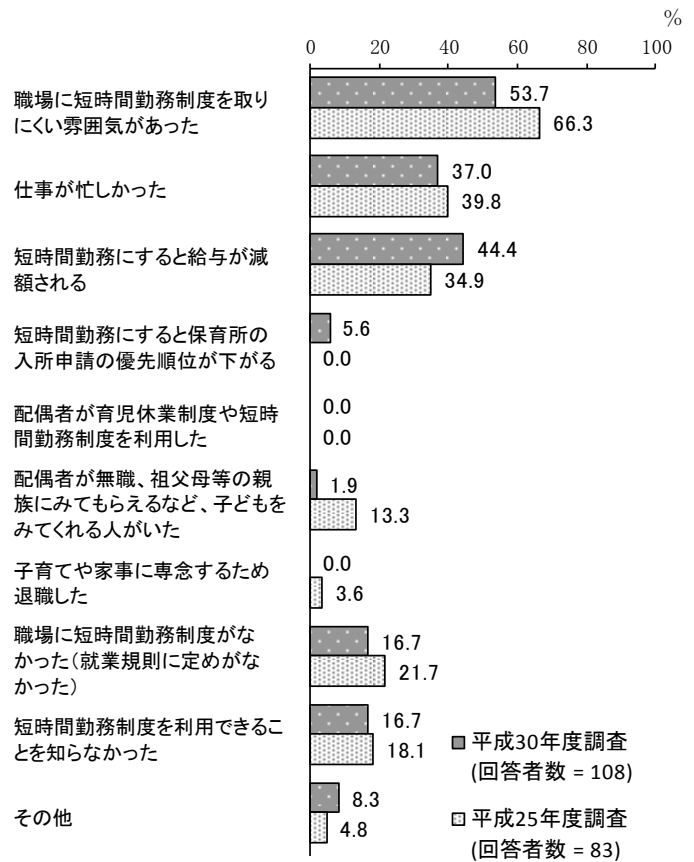


問 34－8 問 34－7で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。
 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
 当てはまる理由すべてに○をつけてください。

（１）母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 53.7%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が 44.4%、「仕事が忙しかった」が 37.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が減少し、「短時間勤務にすると給与が減額される」「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が増加しています。



（２）父親

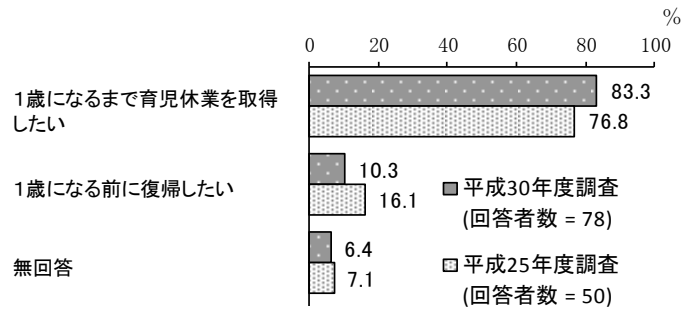
「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」が 4 件となっています。「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が 3 件となっています。

問 34－9 問 34－2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、必ず利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が83.3%、「1歳になる前に復帰したい」が10.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、
1歳になるまで育児休業を取得したい」が増加し、「1歳になる前に復帰したい」が減少しています。



(2) 父親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が1件となっています。

問 35 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

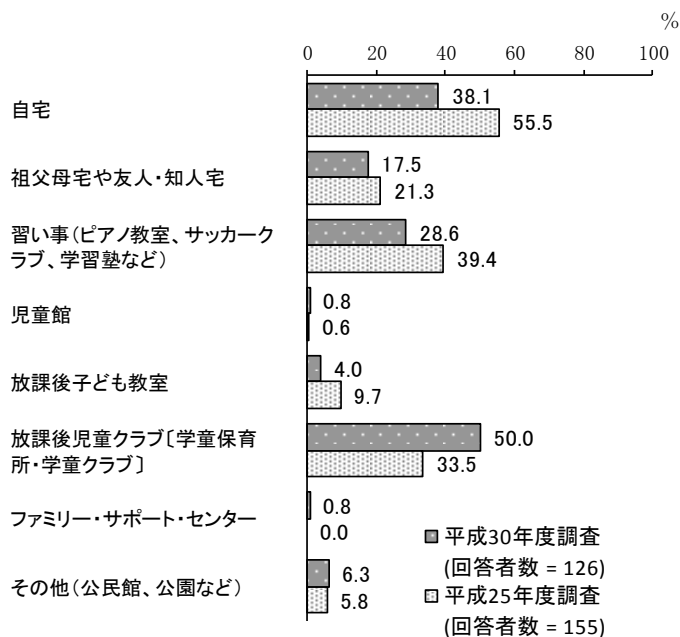
- ・ 保育所、幼稚園、つどいの広場、放課後クラブなどの時間の延長、増設などを望む意見 (70 件)
- ・ 社会環境・企業の理解・充実を望む意見 (34 件)
- ・ 医療費な減額・限度期間の延長を望むなど医療に関する意見 (32 件)
- ・ 公園などの遊び場の増設、設備の管理を望む意見 (23 件)
- ・ 地域の子育て支援サービス等に関する意見 (19 件)
- ・ 児童手当や子育て制度など施策・制度の充実に望む意見 (17 件)
- ・ 保育費の減額・無償化を望むなど保育費用に関する意見 (14 件)
- ・ 学校教育に関する意見 (6 件)
- ・ その他の意見 (28 件)

11 (子どもが5歳以上のみ) 小学校就学後の放課後の過ごし方

問 36 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間を□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕」が 50.0%と最も高く、次いで「自宅」が 38.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 28.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕」が増加しています。一方、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「放課後子ども教室」が減少しています。



小学校低学年の放課後の過ごし方の意向 週あたり日数

単位：％

区分	有効回答数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日
1. 自宅	44	9.1	27.3	13.6	9.1	38.6	2.3	—
2. 祖父母宅や友人・知人宅	22	27.3	13.6	4.5	9.1	36.4	9.1	—
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	36	27.8	36.1	27.8	8.3	—	—	—
4. 児童館	1	—	—	—	—	100.0	—	—
5. 放課後子ども教室	3	33.3	—	33.3	—	33.3	—	—
6. 放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕	62	1.6	3.2	1.6	4.8	46.8	41.9	—
7. ファミリー・サポート・センター	1	100.0	—	—	—	—	—	—
8. その他(公民館、公園など)	8	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	—

※無回答を除く

(1) 自宅

「5日」が38.6%と最も高く、次いで「2日」が27.3%、「3日」が13.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「2日」が増加し、「4日」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	4	9.1	11	13.9
2日	12	27.3	12	15.2
3日	6	13.6	11	13.9
4日	4	9.1	12	15.2
5日	17	38.6	27	34.2
6日	1	2.3	4	5.1
7日	0	0.0	2	2.5
合計	44	100.0	79	100.0

※無回答を除く

(2) 祖父母宅や友人・知人宅

「5日」が36.4%と最も高く、次いで「1日」が27.3%、「2日」が13.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「4日」「5日」が増加し、「2日」「3日」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	6	27.3	10	31.2
2日	3	13.6	9	28.1
3日	1	4.5	4	12.5
4日	2	9.1	0	0.0
5日	8	36.4	7	21.9
6日	2	9.1	2	6.2
7日	0	0.0	0	0.0
合計	22	100.0	32	99.9

※無回答を除く

(3) 習い事

「2日」が36.1%と最も高く、次いで「1日」「3日」が27.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「3日」が増加し、「1日」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	10	27.8	22	36.7
2日	13	36.1	21	35.0
3日	10	27.8	12	20.0
4日	3	8.3	3	5.0
5日	0	0.0	1	1.7
6日	0	0.0	1	1.7
7日	0	0.0	0	0.0
合計	36	100.0	60	100.1

※無回答を除く

(4) 児童館

「5日」が1件となっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	0	0.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	1	100.0	1	100.0
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
合計	1	100.0	1	100.0

※無回答を除く

(5) 放課後子ども教室

「1日」「3日」「5日」が1件ずつとなっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	1	33.3	3	21.4
2日	0	0.0	4	28.6
3日	1	33.3	3	21.4
4日	0	0.0	2	14.3
5日	1	33.3	2	14.3
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
合計	3	100.0	14	100.0

※無回答を除く

(6) 放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕

「5日」が46.8%と最も高く、次いで「6日」が41.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「6日」が増加し、「3日」「4日」「5日」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	1	1.6	2	4.0
2日	2	3.2	3	6.0
3日	1	1.6	6	12.0
4日	3	4.8	6	12.0
5日	29	46.8	27	54.0
6日	26	41.9	6	12.0
7日	0	0.0	0	0.0
合計	62	100.0	50	100.0

※無回答を除く

(7) ファミリー・サポート・センター

「1日」が1件となっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	1	100.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	0	0.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
合計	1	100.0	0	—

※無回答を除く

(8) その他

「1日」「2日」が2件ずつ、「3日」「4日」「5日」「6日」が1件ずつとなっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	2	25.0	3	42.9
2日	2	25.0	1	14.3
3日	1	12.5	1	14.3
4日	1	12.5	1	14.3
5日	1	12.5	1	14.3
6日	1	12.5	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
合計	8	100.0	7	100.1

※無回答を除く

放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕の利用終了時刻

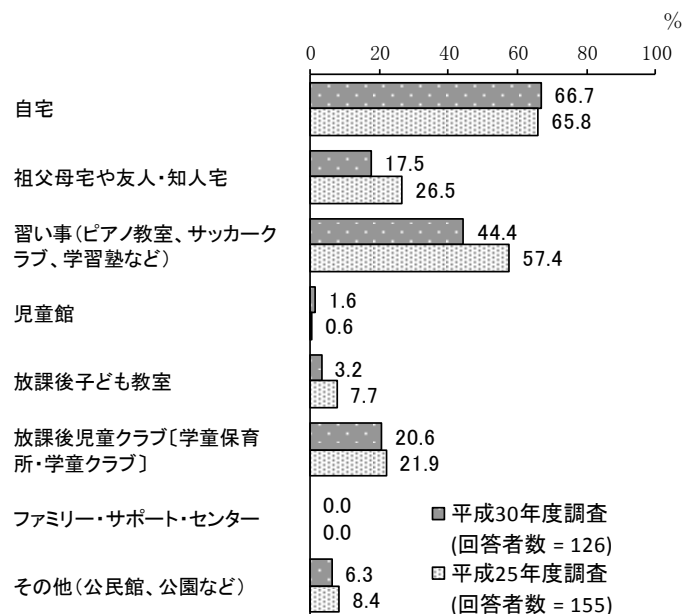
「17 時台」が 50.8%と最も高く、次いで「18 時台」が 31.1%、「19 時台」が 11.5%となっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
16 時台	3	4.9	1	2.0
17 時台	31	50.8	17	34.7
18 時台	19	31.1	25	51.0
19 時台	7	11.5	5	10.2
20 時以降	1	1.6	1	2.0
合計	61	100.0	49	100.0

問 37 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間を口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

「自宅」が 66.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 44.4%、「放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕」が 20.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が減少しています。



小学校高学年の放課後の過ごし方の意向 週あたり日数

単位：％

区分	有効回答数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日
1. 自宅	74	10.8	13.5	18.9	10.8	35.1	8.1	2.7
2. 祖父母宅や友人・知人宅	18	11.1	44.4	5.6	—	27.8	11.1	—
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	52	15.4	25.0	32.7	19.2	7.7	—	—
4. 児童館	2	—	—	50.0	—	50.0	—	—
5. 放課後子ども教室	2	50.0	—	—	—	50.0	—	—
6. 放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕	22	9.1	4.5	18.2	9.1	40.9	18.2	—
7. ファミリー・サポート・センター	—	—	—	—	—	—	—	—
8. その他(公民館、公園など)	8	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	—

※無回答を除く

(1) 自宅

「5日」が35.1%と最も高く、次いで「3日」が18.9%、「2日」が13.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「5日」が増加し、「1日」「2日」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	8	10.8	16	17.8
2日	10	13.5	20	22.2
3日	14	18.9	20	22.2
4日	8	10.8	7	7.8
5日	26	35.1	20	22.2
6日	6	8.1	5	5.6
7日	2	2.7	2	2.2
合計	74	100.0	90	100.0

※無回答を除く

(2) 祖父母宅や友人・知人宅

「2日」が44.4%と最も高く、次いで「5日」が27.8%、「1日」「6日」が11.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「2日」「5日」「6日」が増加し、「1日」「3日」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	2	11.1	12	30.0
2日	8	44.4	11	27.5
3日	1	5.6	9	22.5
4日	0	0.0	1	2.5
5日	5	27.8	5	12.5
6日	2	11.1	2	5.0
7日	0	0.0	0	0.0
合計	18	100.0	40	100.0

※無回答を除く

(3) 習い事

「3日」が32.7%と最も高く、次いで「2日」が25.0%、「4日」が19.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「3日」「4日」が増加し、「1日」「2日」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	8	15.4	21	24.7
2日	13	25.0	35	41.2
3日	17	32.7	16	18.8
4日	10	19.2	5	5.9
5日	4	7.7	6	7.1
6日	0	0.0	1	1.2
7日	0	0.0	1	1.2
合計	52	100.0	85	100.0

※無回答を除く

(4) 児童館

「3日」「5日」が1件ずつとなっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	1	50.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	1	50.0	1	100.0
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
合計	2	100.0	1	100.0

※無回答を除く

(5) 放課後子ども教室

「1日」「5日」が1件ずつとなっています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	1	50.0	3	27.3
2日	0	0.0	4	36.4
3日	0	0.0	2	18.2
4日	0	0.0	1	9.1
5日	1	50.0	1	9.1
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
合計	2	100.0	11	100.0

※無回答を除く

(6) 放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕

「5日」が40.9%と最も高く、次いで「3日」「6日」が18.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「4日」が増加し、「3日」が減少しています。

カテゴリ	平成30年度		平成25年度	
	件数	%	件数	%
1日	2	9.1	2	6.7
2日	1	4.5	2	6.7
3日	4	18.2	7	23.3
4日	2	9.1	0	0.0
5日	9	40.9	13	43.3
6日	4	18.2	6	20.0
7日	0	0.0	0	0.0
合計	22	100.0	30	100.0

※無回答を除く

(7) ファミリー・サポート・センター

有効回答はありませんでした。

「5日」「6日」が2件ずつ、「1日」「2日」「3日」「4日」が1件ずつとなっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
1 日	1	12.5	3	25.0
2 日	1	12.5	4	33.3
3 日	1	12.5	3	25.0
4 日	1	12.5	0	0.0
5 日	2	25.0	1	8.3
6 日	2	25.0	0	0.0
7 日	0	0.0	1	8.3
合計	8	100.0	12	100.0

※無回答を除く

※平成 25 年度調査の「7 日」には
週 8 日以上値も含む

(8) その他

放課後児童クラブ〔学童保育所・学童クラブ〕の利用終了時刻

「18 時台」が 52.4%と最も高く、次いで「17 時台」が 28.6%、「19 時台」が 14.3%となっています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
16 時台	0	0.0	1	3.3
17 時台	6	28.6	7	23.3
18 時台	11	52.4	17	56.7
19 時台	3	14.3	4	13.3
20 時以降	1	4.8	1	3.3
合計	21	100.0	30	100.0

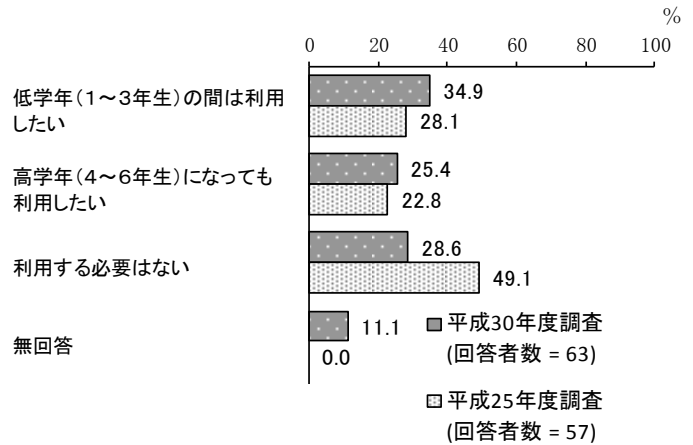
問 38 問 36 または問 37 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（１）（２）それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）０９時～１８時 のように２４時間制でご記入ください。

（１）土曜日

「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 34.9%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 28.6%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 25.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が増加し、「利用する必要はない」が減少しています。



ア. 利用開始時間

「８時台」が 72.2%と最も高く、次いで「９時台」が 22.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「８時台」が増加し、「９時台」「11 時以降」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
7 時台	2	5.6	2	6.9
8 時台	26	72.2	14	48.3
9 時台	8	22.2	11	37.9
11 時以降	0	0.0	2	6.9
合計	36	100.0	29	100.0

イ. 利用終了時間

「17 時台」、「18 時台」が 35.1%と最も高く、次いで「16 時台」、「19 時台」が 13.5%となっています。

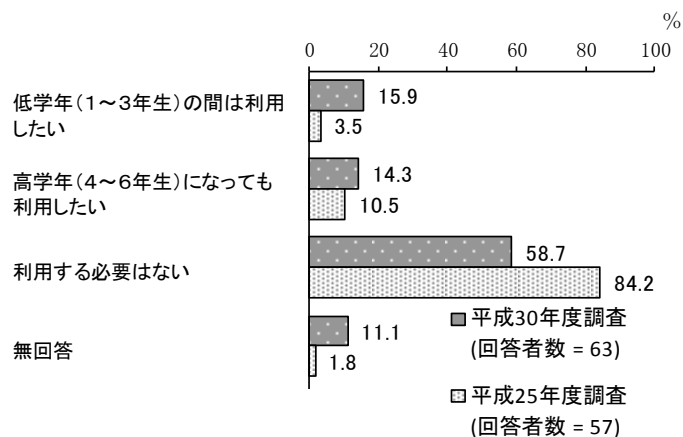
平成 25 年度調査と比較すると、「16 時台」「17 時台」「19 時台」が増加し、「18 時台」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
15 時台	0	0.0	1	3.4
16 時台	5	13.5	1	3.4
17 時台	13	35.1	8	27.6
18 時台	13	35.1	17	58.6
19 時台	5	13.5	1	3.4
20 時以降	1	2.7	1	3.4
合計	37	100.0	29	100.0

(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」が 58.7%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 15.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 14.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が増加し、「利用する必要はない」が減少しています。



ア. 利用開始時刻

「8 時台」が 61.1%と最も高く、次いで「9 時台」が 27.8%、「7 時台」が 11.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「8 時台」が増加し、「9 時台」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
7 時台	2	11.1	1	12.5
8 時台	11	61.1	3	37.5
9 時台	5	27.8	4	50.0
10 時台	0	0.0	0	0.0
11 時以降	0	0.0	0	0.0
合計	18	100.0	8	100.0

イ. 利用終了時刻

「18 時台」が 47.4%と最も高く、次いで「17 時台」、「19 時台」が 21.1%となっています。

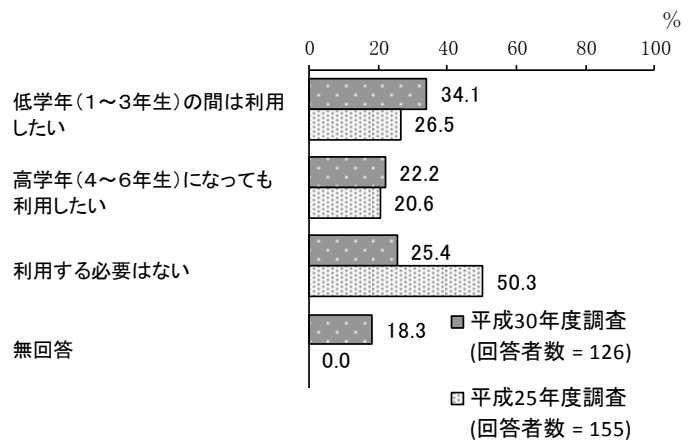
平成 25 年度調査と比較すると、「16 時台」「19 時台」が増加し、「18 時台」「20 時以降」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
16 時台	1	5.3	0	0.0
17 時台	4	21.1	2	25.0
18 時台	9	47.4	5	62.5
19 時台	4	21.1	0	0.0
20 時以降	1	5.3	1	12.5
合計	19	100.0	8	100.0

問 39 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 34.1%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 25.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 22.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が増加し、「利用する必要はない」が減少しています。



ア. 利用開始時刻

「8 時台」が 69.1%と最も高く、次いで「9 時台」が 23.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「8 時台」が増加し、「9 時台」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
7 時台	4	5.9	3	4.3
8 時台	47	69.1	34	49.3
9 時台	16	23.5	29	42.0
10 時台	1	1.5	2	2.9
11 時以降	0	0.0	1	1.4
合計	68	100.0	69	100.0

イ. 利用終了時刻

「17 時台」が 52.2%と最も高く、次いで「18 時台」が 23.2%、「19 時台」が 13.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「17 時台」「19 時台」が増加し、「15 時台」「18 時台」が減少しています。

カテゴリ	平成 30 年度		平成 25 年度	
	件数	%	件数	%
13 時より前	0	0.0	1	1.4
14 時台	0	0.0	1	1.4
15 時台	2	2.9	6	8.7
16 時台	5	7.2	8	11.6
17 時台	36	52.2	23	33.3
18 時台	16	23.2	29	42.0
19 時台	9	13	0	0.0
20 時以降	1	1.4	1	1.4
合計	69	100.0	69	100.0

Ⅳ 調査票

第二期大牟田市子ども・子育て支援事業計画に係る 市民アンケート調査

調査ご協力をお願い

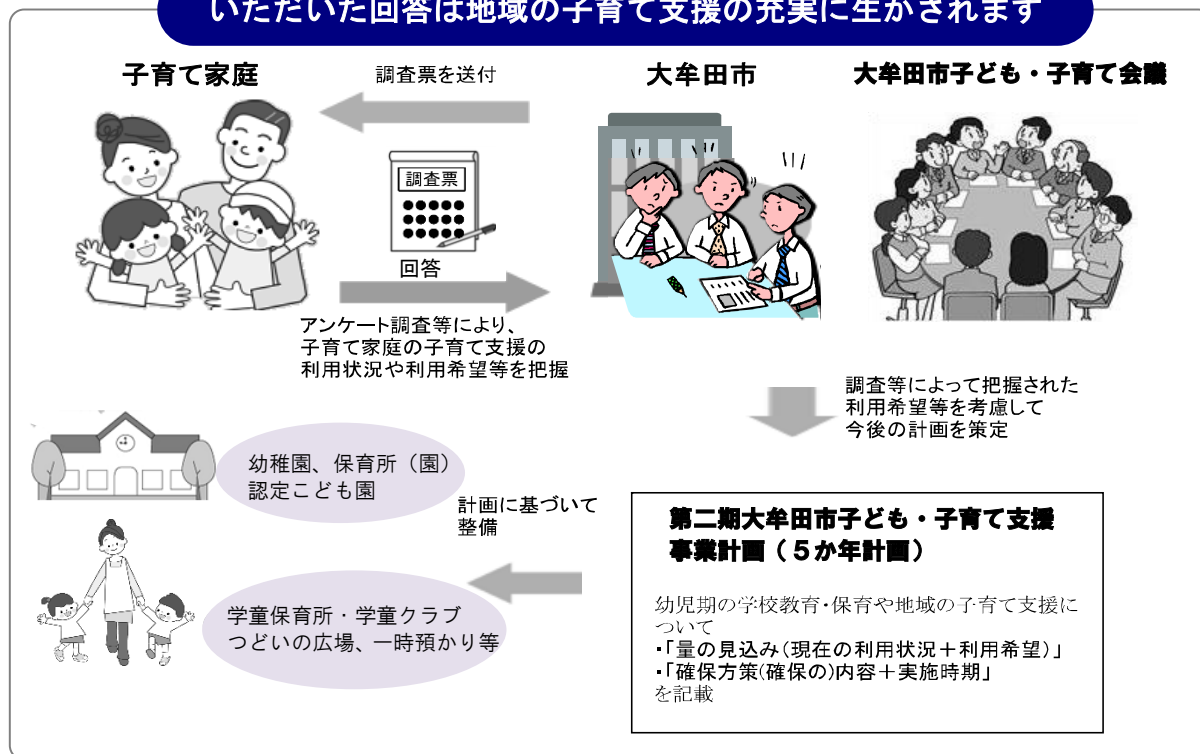
大牟田市では、子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援の制度（子ども・子育て支援新制度）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、平成26年度に、平成27年度から31年度を計画期間とする「大牟田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、現在、この計画に基づき様々な子育て支援の事業を実施しているところです。

本調査は、次年度に次の計画期間である2020年度から2024年度までの「第二期大牟田市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握し、本市における子育て支援策をより充実させていくために行うものです。本アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

なお、この調査へのご回答は、この調査の目的以外には使用いたしません。

平成 31年 1 月 大牟田市長 中尾 昌弘

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



【このアンケートに関する問合せ】

大牟田市保健福祉部子ども未来室子ども育成課 少子化対策担当

電話 0944-41-2248 FAX 0944-41-2664

回答するに当たってお読みください。

ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。また、子ども・子育て支援新制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもの保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

ご記入に当たってのお願い

1. この調査票は、宛名のお子さんについて保護者の方がご記入ください。
2. 回答は記入日時点の状況でご記入ください。
3. 鉛筆か黒または青のボールペンではっきりとご記入ください。
4. 回答は、質問ごとに「1つに」「すべてに」「数字でご記入ください」などのことわり書きがありますので、設問をよくお読みになってご回答ください。
5. 「その他()」に当てはまる場合は、お手数ですが詳細にお書きください。
6. 調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
7. 記入後の調査票は、記入もれがないかをご確認のうえ、同封の返信用封筒で

2月6日(水) までにご投函ください。(切手不要)

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|---------|--------|--------|--------|----------|
| 1. みなと | 2. 天領 | 3. 駿馬 | 4. 天の原 | 5. 玉川 | 6. 大牟田中央 |
| 7. 大正 | 8. 中友 | 9. 明治 | 10. 白川 | 11. 平原 | 12. 高取 |
| 13. 三池 | 14. 羽山台 | 15. 銀水 | 16. 上内 | 17. 吉野 | 18. 倉永 |
| 19. 手鎌 | | | | | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字で記入ください。数字は一格に一字。)

平成 年 月生まれ

問3 お子さん何人いらっしゃいますか。数字で記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

お子さんの数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。

お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他() | | | |

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|--------|-------------------------------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 保育所 | 7. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) | |
| 8. その他() | | | |

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|--------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 | 6. その他() | | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|--------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | ⇒問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒問10へ | |

問9-1 ★問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他() |

問9-2 ★問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他() |

☆みなさんにうかがいます。

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. いる／ある ⇒問10-1へ | 2. いない／ない ⇒問11へ |
|------------------|-----------------|

問10-1 ★問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|-------------------|--------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 子育て支援施設(つどいの広場等)・NPO | | |
| 5. 保健所 | 6. 保育士 | 7. 幼稚園教諭 |
| | | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 市役所の子育て関連担当窓口 | |
| 11. その他(【例】ベビーシッター) | | |

問 11 子育てに関する情報は十分に入手できていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 十分できている | 2. どちらかといえばできている |
| 3. どちらかといえばできていない | 4. できていない |

問 12 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 親族 | 2. 隣近所の人、知人、友人 |
| 3. 幼稚園・保育所・認定こども園・学校 | 4. 市役所や市の窓口 |
| 5. 市の広報やパンフレット | 6. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 7. 子育て雑誌・育児書・コミュニティー誌 | 8. ポスターなどの掲示物 |
| 9. インターネット(SNSを含む) | 10. その他() |
| 11. 情報の入手手段がわからない | |

問 13 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号のうち特に重要なもの(3つまで)に○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 妊娠・出産・産後ケアに対する支援 |
| 2. 育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進 |
| 3. 男女がともに子育てを担う環境の充実 |
| 4. 保育サービスの充実 |
| 5. 子どもの教育環境の充実 |
| 6. 経済的負担の軽減(子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など) |
| 7. 安心して医療機関にかかれる体制の整備(小児救急や夜間小児診療など) |
| 8. 子育てを地域全体で支え合う環境づくり |
| 9. 子育てしやすい住まい・まちの環境面での充実 |
| 10. 子どもが安全・安心に遊べる場の整備 |
| 11. 子育てに関して相談したり情報を得ることができる場づくり |
| 12. 特別な支援を要する児童への支援(障がい、DV 被害、生活困窮など) |

具体的に:○を付けたものの中で具体的なご意見があればお書きください

- | |
|------------|
| 13. その他() |
|------------|

問 14 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

問 15 子育てに幸せや楽しさを感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. かなり感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. ほとんど感じない |

問 16 子育てに関する不安はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. かなり不安がある | 2. すこし不安がある | 3. ほとんど不安はない |
|-------------|-------------|--------------|

問 17 子育てを負担に感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|-----------------|
| 1. かなり負担に感じる | 2. すこし負担に感じる | 3. ほとんど負担には感じない |
|--------------|--------------|-----------------|

問 18 「仕事の時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の調和は取れていると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 調和は取れていると思う | 2. 調和が取れていないと思う |
| 3. どちらともいえない | 4. その他(具体的に) |

問 19 あなたの住んでいる地域は、子育てがしやすいところだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|---------------|----------|
| 1. そう思う | 2. どちらかというと思う | |
| 3. どちらかというと思わない | 4. そう思わない | 5. わからない |

問 19-1 その理由は何ですか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

【ひとり親の方の場合は、ご自身の設問のみお答え下さい。】

①母親

当てはまる番号1つに○をつけてください。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒問 20-1 へ
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒問 20-1 へ
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒問 20-1・問 20-2 へ
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒問 20-1・問 20-2 へ
- 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒問 20-3 へ
- これまで就労したことがない ⇒問 20-3 へ

②父親

当てはまる番号1つに○をつけてください。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない ⇒問 20-1 へ
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である ⇒問 20-1 へ
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない ⇒問 20-1・問 20-2 へ
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である ⇒問 20-1・問 20-2 へ
- 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒問 20-3 へ
- これまで就労したことがない ⇒問 20-3 へ

問 20-1 ★問 20 で「1. ～4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」と1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、また、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

①母親	②父親
1 週当たり □ 日	1 週当たり □ 日
1 日当たり □ □ 時間	1 日当たり □ □ 時間
家を出る時刻 □ □ 時	家を出る時刻 □ □ 時
帰 宅 時 刻 □ □ 時	帰 宅 時 刻 □ □ 時

問 20-2 問 20 で「3. または4. 」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 20-3へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問 20-3 ★問 20 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、8ページ問 21 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

①母親	②父親
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
希望する就労形態 【あなたはイに○をつけ、□内に数字をご記入ください】	希望する就労形態 【あなたはイに○をつけ、□内に数字をご記入ください】
ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
⇒1 週当たり □ 日	⇒1 週当たり □ 日
1 日当たり □ □ 時間	1 日当たり □ □ 時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で平日ほぼ毎日利用している事業を指します。

具体的には、幼稚園や保育所など、問 21-1 に示した事業が含まれます。

問 21 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所や認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 21-1 へ 2. 利用していない ⇒ 9 ページ 問 21-5 へ

問 21-1 ★問 21-1～問 21-4 は、問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 幼稚園 | (通常の就園時間の利用) |
| 2. 幼稚園の預かり保育 | (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 保育所〔認可保育所〕 | (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) |
| 4. 認定こども園 | (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 認定こども園の預かり保育 | (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 6. 小規模な保育施設 | (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19 人のもの) |
| 7. 家庭的保育 | (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) |
| 8. 事業所内保育施設 | (企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 9. 自治体の認証・認定保育施設 | (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) |
| 10. その他の認可外の保育施設 | (企業主導型保育事業を含む) |
| 11. 居宅訪問型保育 | (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 12. ファミリー・サポート・センター | (会員組織により子どもを預かる事業) |
| 13. その他(|) |

問 21-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1)現在

1週当たり □ 日
1日当たり □ □ 時間
(□ □ 時～ □ □ 時)

(2)希望

1週当たり □ 日
1日当たり □ □ 時間
(□ □ 時～ □ □ 時)

問 21-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

1. 大牟田市内 2. 他の市町村

問 21-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他()

問 21-5 ★問 21 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(☐ 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他()

☆みなさんにうかがいます。

問 22 政府は、消費税率引き上げの時期に合わせて、3歳から5歳までの子どもと、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて、保育料等を無償化する方向です。現在、利用している、利用していないにかかわらず、次の①、②のそれぞれについて、下の点線枠の中から、当てはまる番号すべてをご記入ください。

①消費税率引き上げ後も現行どおり保育料等が有償である場合、平日に「定期的に」利用したいと考える施設等をお答えください。



(例: 1, 2, 4, 10)

②保育料等の無償化が実施された場合、平日に「定期的に」利用したいと考える施設等をお答えください。



(例: 1, 2, 4, 10)

- | | |
|---------------------|--|
| 1. 幼稚園 | (通常の就園時間の利用) |
| 2. 幼稚園の預かり保育 | (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 保育所〔認可保育所〕 | (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) |
| 4. 認定こども園 | (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 認定こども園の預かり保育 | (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 6. 小規模な保育施設 | (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの) |
| 7. 家庭的保育 | (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) |
| 8. 事業所内保育施設 | (企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 9. 自治体の認証・認定保育施設 | (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) |
| 10. その他の認可外の保育施設 | (企業主導型保育事業を含む) |
| 11. 居宅訪問型保育 | (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 12. ファミリー・サポート・センター | (会員組織により子どもを預かる事業) |
| 13. その他() | |

問 22-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 大牟田市内

2. 他の市町村

問 22-2 問 22 で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」を記入し、かつ3～13を1つでも記入した方にうかがいます。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 23 平成30年4月に開設した、大牟田市子育て世代包括支援センター 愛称「はくはく^{おむた}」について知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っている

2. 知らない

※大牟田市子育て世代包括支援センターでは、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導を行っています。

問 24 市の相談窓口において、子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

1. 相談場所が身近にある

2. 利用しやすい時間設定

3. できる限りワンストップの対応

4. 分かりやすい情報提供

5. 職員の対応スキル

6. 民生委員・児童委員、医療機関等とのつなぎ

7. 安心して相談できる環境(プライバシーの配慮等)

8. その他()

問 25 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」があたります)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)

⇒ 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. その他大牟田市で実施している類似の事業

⇒ (具体名:)

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

3. 利用していない

問 26 問 25 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 利用していないが、今後利用したい

⇒ 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

⇒ 1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 27 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
 ①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用 したことがある	今後利用したい
①大牟田市子育て世代包括支援センター [はぐはぐ ^{おおむた}  mufa]	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
②母親(父親)学級、両親学級、育児学級 [ママのほっとスペース、赤ちゃん広場など]	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
③相談事業 [育児相談、ことばとこころの相談など]	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
④産婦新生児訪問[赤ちゃん訪問]	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
⑤就学前子育て講座	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
⑥教育相談室	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
⑦保育所や幼稚園の園庭の開放など	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
⑧子育てふれあい広場	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
⑨子ども家庭支援センター「あまぎやま」	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
⑩児童家庭相談室	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
⑪子育て情報誌「おおむたっ子」	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、8ページ問 21-1 に掲げる幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設などの事業を指します。

(1)土曜日(1つに○)

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯

時から
時まで

(2)日曜・祝日(1つに○)

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯

時から
時まで

問 28-1 ★問 28 の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他()

★「幼稚園」「認定こども園」を利用されている方にうかがいます。

幼稚園、認定こども園を利用されていない方は問 30 以降へお進みください。

問 29 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- 利用したい時間帯

時から 時まで

問 29-1 ★問 29 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他()

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育事業を利用する方のみ)

★平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 21 で「1.」に○をつけた方)にうかがいます。

利用していらない方は、14 ページ問 31 にお進みください。

問 30 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. あった ⇒問 30-1へ
2. なかった ⇒14 ページ問 31 へ

問 30-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処法	日数
1. 父親が休んだ	日
2. 母親が休んだ	日
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	日
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
5. 病児・病後児の保育を利用した	日
6. ベビーシッターを利用した	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
9. その他()	日

⇒ 問 30-5 へ

問 30-2 ★問 30-1 で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 30-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 30-4 へ

問 30-3 ★問 30-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園や保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

⇒ 問 31 へ

問 30-4 ★問 30-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよい
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他()

⇒ 問 31 へ

問 30-5 ★問 30-1 で「3.」から「9.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 日 ⇒ 問 31 へ
2. 休んで看することは非常に難しい ⇒ 問 30-6 へ

問 30-6 ★問 30-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他()

☆みなさんにうかがいます。

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 31 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)を数字でご記入ください。

利用している事業		日数／年間
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)		日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長で預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)		日
3. ファミリー・サポート・センター (会員組織により子どもを預かる事業)		日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)		日
5. ベビーシッター		日
6. その他()		日
7. 利用していない		

問 32 へ

問 31-1 ★問 31 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他()

問 32 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数を数字でご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください)。
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
① 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的		日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等		日
③ 不定期の就労		日
④ その他()		日
2. 利用する必要はない		

問 32-1 ★問 32 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 32 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大きな規模の施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)
2. 小さな規模の施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

問 33 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

1年間の対処法	泊数
1. あった	
① (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	泊
② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	泊
③ ②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	泊
④ 仕方なく子どもを同行させた	泊
⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
⑥ その他()	泊
2. なかった	

問 33-1 ★問 33 で「1. あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。
その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

☆みなさんにうかがいます。

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 34 宛名のお子さんが生まれた際の育児休業の取得状況についてうかがいます。父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない

→★問 34 で「3. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。取得しなかった理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

(1)母親

- | |
|--|
| 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった |
| 2 仕事が忙しかった |
| 3 (産休後に)仕事に早く復帰したかった |
| 4 仕事に戻るのが難しそうだった |
| 5 昇給・昇格などが遅れそうだった |
| 6 収入減となり、経済的に苦しくなる |
| 7 保育所(園)などに預けることができた |
| 8 配偶者が育児休業制度を利用した |
| 9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ
るなど、制度を利用する必要がなかった |
| 10 子育てや家事に専念するため退職した |
| 11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則
に定めがなかった) |
| 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満た
さなかった |
| 13 育児休業を取得できることを知らなかった |
| 14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を
取得できることを知らず、退職した |
| 15 その他() |

(2)父親

- | |
|--|
| 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった |
| 2 仕事が忙しかった |
| 3 仕事に早く復帰したかった |
| 4 仕事に戻るのが難しそうだった |
| 5 昇給・昇格などが遅れそうだった |
| 6 収入減となり、経済的に苦しくなる |
| 7 保育所(園)などに預けることができた |
| 8 配偶者が育児休業制度を利用した |
| 9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ
るなど、制度を利用する必要がなかった |
| 10 子育てや家事に専念するため退職した |
| 11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則
に定めがなかった) |
| 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満た
さなかった |
| 13 育児休業を取得できることを知らなかった |
| 14 その他() |

問 34-1 育児休業給付制度^{※1}や健康保険及び厚生年金保険の保険料免除制度^{※2}があることをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた | 2. 育児休業給付のみ知っていた |
| 3. 保険料免除のみ知っていた | 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

※1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み

※2 子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

★問 34 で「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、19 ページ問 35 へ

問 34-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1)母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である ⇒18 ページ問 34-9 へ
3. 育児休業中に離職した ⇒19 ページ問 35 へ

(2)父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である ⇒18 ページ問 34-9 へ
3. 育児休業中に離職した ⇒19 ページ問 35 へ

問 34-3 ★問 34-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

(1)母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

(2)父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

問 34-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1)母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月
希望 □ 歳 □ □ ヶ月

(2)父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月
希望 □ 歳 □ □ ヶ月

問 34-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1)母親

□ 歳 □ □ ヶ月

(2)父親

□ 歳 □ □ ヶ月

問 34-6 問 34-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所などに入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他()

②父親

1. 希望する保育所などに入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他()

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所などに入らなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみってくれる人がいなかったため
6. その他()

②父親

1. 希望する保育所などに入らなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみってくれる人がいなかったため
6. その他()

問 34-7 ★問 34-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1)母親

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) ⇒問 35 へ
2. 利用した ⇒問 35 へ
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

(2)父親

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) ⇒問 35 へ
2. 利用した ⇒問 35 へ
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

→問 34-8 ★問 34-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる理由 すべて に○をつけてください。

(1)母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()

(2)父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()

問 34-9 ★問 34-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、必ず利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1)母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

(2)父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

問 35 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

宛名のお子さんが5歳未満である方はこれで調査は終了となります。
調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れ、2月6日（水）までにご投函ください。

宛名のお子さんが5歳以上である方は、
問 36 から問 39 まで引き続き回答をお願いします。



宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について
うかがいます。

問 36 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場
所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入く
ださい。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間を口内に数字でご記入ください。
時間は必ず(例)18時 のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…本市では学童保育所・学童クラブと呼んでいます。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支
援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	日くらい
4. 児童館 ※1	週	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週	日くらい
6. 放課後児童クラブ[学童保育所・学童クラブ]	週	日くらい →下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週	日くらい

※1 児童館(本市にはありません)で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答
※2 「放課後子ども教室(本市では実施していません)」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・ス
ポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 37 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間を口内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時 のように24時間制でご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 日くらい
4. 児童館 ※	週 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ[学童保育所・学童クラブ]	週 日くらい →下校時から □ □ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週 日くらい

※ 児童館(本市にはありません)で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 38 ★問36または問37で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時 のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1)土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	→	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

(2)日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	→	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

☆みなさんにうかがいます。

問 39 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時 のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	→	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れ、2月6日(水)までにご投函ください。

平成 31 年度
第二期大牟田市子ども・子育て支援
事業計画に係る市民アンケート調査
報告書

平成 31 年 3 月
発行／大牟田市 保健福祉部
子ども未来室子ども育成課
〒836-8666 福岡県大牟田市有明町 2 丁目 3 番地